

Iwami Art Museum

平成30
[2018]
年度

年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2018- March 2019

目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	13
コレクション展	19
その他の展覧会	36
ミュージア	37
教育普及活動	39
共同研究会・実習	41
所蔵作品紹介新聞連載	42
ボランティア	43
連携事業	44
所蔵作品一覧	45
新収蔵作品一覧	60
所蔵作品貸出実績	61
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	62
収支概要	63
島根県芸術文化センター条例	64
島根県立石見美術館管理規則	69
施設概要	72
運営組織体制	75
利用案内	76

島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域に育まれてきた文化を大切にしながら、新しい芸術文化の創造をめざします。

活動方針

- 1: 芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2: 芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3: 非日常空間の提供
- 4: 世界に目を向けた情報発信

島根県立石見美術館

- 1: 幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2: 地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3: 美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4: 美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

島根県立いわみ芸術劇場

- 1: 芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2: 優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3: 舞台芸術に関する研修機会を提供します。

展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期	
企画展	展示室D	モダン・アートに出会う5つの扉—和歌山県立近代美術館名品展	平成30年4月21日～6月17日	
	展示室D	ゆかた 浴衣 YUKATA すずしさのデザイン、いまむかし	平成30年7月14日～9月3日	
	展示室D・C	めがねと旅する美術展 江戸時代から現代まで—「みる」ことへの探求	平成30年9月15日～11月12日	
	展示室D	追悼水木しげる ゲゲゲの人生展	平成30年12月1日～平成31年1月28日	
特別展	展示室A・B	島根県立美術館コレクション 色あそびの世界	平成30年7月20日～9月17日	
	展示室C	THERIACA 服のかたち／体のかたち	平成30年7月27日～9月9日	
	展示室A	浮世絵にみる遊び心—島根県立古代出雲歴史博物館コレクション	平成30年9月20日～11月5日	
コレクション展	展示室A	余白の美	平成30年4月5日～5月21日	
		□△○ —まるさんかくしかく—	平成30年5月23日～7月16日	
		山と水を描く	平成30年11月7日～12月17日	
		不思議な生きものたち	平成30年12月19日～平成31年2月3日	
		森鷗外と宮芳平	平成31年2月10日～4月8日	
	展示室B	森英恵	平成30年2月28日～5月7日	
		小さな宇宙 根付	平成30年5月9日～7月16日	
		イラストから写真へ—ファッションを伝える・広げる—	平成30年9月20日～11月5日	
		中世の益田氏	平成30年11月7日～12月17日	
		ディオールとバレンシアガ	平成30年12月19日～平成31年2月18日	
		色をまとう輪郭—シャルル・マルタンとジョルジュ・ルパップのイラストレーション	平成31年2月21日～4月8日	
	展示室C	ランバンと子どもの装い	平成30年4月25日～6月4日	
		夏の和装	平成30年6月6日～7月22日	
		空間を奏でる—澄川 喜一の彫刻	平成30年11月16日～平成31年1月21日	
		あなたは どう見る?—よく見て話そう美術について	平成31年1月23日～3月4日	
		デュフィとボワレ	平成31年3月8日～4月22日	
	その他の展覧会	展示室D	第51回島根県総合美術展(県展)移動展	平成31年2月7日～2月10日
			第37回益田市美術展	平成31年2月14日～2月17日
全島根小中学校図画作品展 益田展			平成31年2月23日～2月25日	

企画展 モダン・アートに出会う 5つの扉—和歌山県立近代美術館名品展



ポスター

展覧会名：モダン・アートに出会う 5つの扉—和歌山県立近代美術館名品展

会 期：平成30年4月21日(土)～6月17日(日)

休 館 日：毎週火曜日(ただし5月1日は開館)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円
 前売券[企画・コレクション展セット]一般／900円、大学生／500円

* ()内は20名以上の団体料金

*小中高生の学校利用は入場無料

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、日本海テレビ、中国新聞社

特別協力：和歌山県立近代美術館

後 援：芸術文化とふれあう協議会

内 容

本展では、和歌山県立近代美術館の珠玉のコレクションの魅力を紹介した。同館は、前身の県立美術館から1970年に現在の近代美術館として開館して以来、国内外問わず優れた美術品を収集しており、収蔵品のなかでも特に和歌山ゆかりの作家たち、日本の近現代美術史を飾る優れた作家たちの作品群が国内でも屈指のモダン・アートの名品として知られている。今回は、これらのなかから絵画作品を軸に選び、モダン・アートとの出会いの場を5つの扉になぞらえて、作品の魅力を紹介した。

新聞、雑誌掲載

中国新聞3月2日 展覧会紹介記事

『ギャラリー』2018 vol.4(2018年4月1日発行) 展覧会紹介記事

中国新聞4月11日 展覧会紹介記事

山陰中央新報4月21日 展覧会紹介記事

中国新聞4月22日 記念講演会

「和歌山から島根へ—日本のモダン・アートを発信する」取材記事

中国新聞4月24日～28日 左近充 直美 展覧会紹介記事

中国新聞5月1日 グラントワ・マルシェ紹介記事

読売新聞5月5日 展覧会紹介記事

タウン誌「プレスネット」 5月10日号 展覧会紹介記事

山陰中央新報5月11日 展覧会紹介記事

中国新聞5月11日 展覧会紹介記事

毎日新聞5月13日 展覧会紹介記事

中国新聞5月19日 グラントワteaガーデン「和歌山茶」紹介記事

山陰中央新報5月22日 グラントワ・マルシェ取材記事

中国新聞6月1日 魅惑の逸品 作品紹介記事

山陰中央新報6月6日 スペシャル・ギャラリートーク取材記事

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

クロスワードパズル付・謎解き鑑賞ガイド

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)



会 場



会 場



会 場



会場



記念講演会



スペシャル・ギャラリートーク



グラントワ・マルシェ



ギャラリートーク

関連事業

記念講演会「和歌山から島根へー日本のモダン・アートを発信する」

講師：山野 英嗣(和歌山県立近代美術館長)

日時：4月21日(土)14:00～15:30

会場：講義室

参加者：20名

スペシャル・ギャラリートーク「こども美術館部 in 石見」

和歌山県立近代美術館で行われている鑑賞講座の石見版。こどもから大人まで、クイズを交えながら作品鑑賞を楽しんだ。

講師：青木 加苗(和歌山県立近代美術館学芸員)

日時：5月13日(日)11:00～11:45

会場：展示室D

参加者：29名

グラントワ・マルシェ 5つの扉

和歌山県が「フルーツ王国」であることにちなみ、フルーツにちなんだ5つのイベントを実施した。

日時：5月3日(木・祝)10:30～15:00

会場：中庭広場

参加者：4316名(美術館入場者280名)

ギャラリートーク

日時：4月22日(日)、5月6日(日)、5月26日(土)、6月10日(日)いずれも14:00～

会場：展示室D

グラントワ tea ガーデン「和歌山茶」

和歌山産みかんの香りと、ほんのりはちみつのお茶をお楽しみいただいた。

日時：6月2日(土)11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：100名

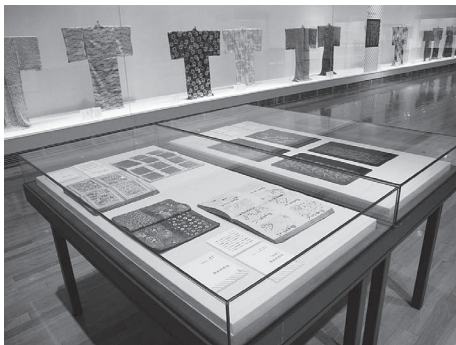
企画展 ゆかた 浴衣 YUKATA すずしさのデザイン、いまむかし



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 ゆかた 浴衣 YUKATA すずしさのデザイン、いまむかし

会 期：平成30年7月14日(土)～9月3日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし8月15日は開館)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、BSS山陰放送、山陰中央新報社

後 援：芸術文化とふれあう協議会

協 力：東京文化財研究所、益田美容師組合

企画協力：(株)イデップ

助 成：芸術文化振興基金

内 容

江戸時代に入浴後のくつろぎ着となり、やがて夏の気軽な外出着として定着したゆかたに焦点をあてた企画。共立女子大学長崎巖教授の監修。これまで展覧会というかたちでまとまって紹介されることのなかったゆかたをとりあげた本展では、江戸時代から近現代までのゆかたや型紙に加え、当時の風俗を描いた浮世絵など約180点を展示。その歴史とともに、ゆかたの繊細かつ素朴な魅力を紹介した。関連プログラムとして、地元の美容師組合によるゆかた着付け教室や、劇場とともに落語会を開催するなど、他の組織と連携し事業を実施した。

新聞、雑誌掲載

『美しいキモノ』5月号5月15日 展覧会紹介記事

『ART NAVI』(web)6月6日 展覧会紹介記事

『婦人画報』(web)6月13日 展覧会紹介記事

『Walker+』(web)6月19日 展覧会紹介記事

『ひととき』7月号6月20日 展覧会紹介記事

『美術手帖』(web)6月24日 展覧会紹介記事

『山口イベントガイドブック』6月28日 展覧会紹介記事

『そめとおり』初夏号7月1日 展覧会紹介記事

いわみりびえ〜る7月8日 展覧会紹介記事

山陰中央新報7月11日 南目 美輝 寄稿

The Japan Times 7月11日 展覧会紹介記事

『美しいキモノ』(sns)7月14日 展覧会紹介記事

山陰中央新報7月14日 展覧会開幕取材記事

ASA萩かわら版7月15日 展覧会紹介記事

読売新聞7月15日 展覧会開幕取材記事

中国新聞7月17日 展覧会開幕取材記事

山陰中央新報7月18、19・8月7、8日 南目 美輝 展覧会紹介記事

山陰中央新報7月18日 ゆかたウィーク取材記事

『美術の窓』7月号7月20日 展覧会紹介記事

サンデーワイド7月28日 展覧会紹介記事

『Walker+』(web)8月6日 展覧会紹介記事

山陰中央新報8月3日 展覧会取材記事

『Discover Japan』8月号8月6日 展覧会紹介記事

山陰中央新報8月9日 展覧会取材記事

山陰スポット8月10日 展覧会紹介記事

山陰中央新報8月14日 ゆかた納涼祭取材記事

山陰中央新報8月31日 展覧会紹介記事



講演会



WS着付け



落語会

印刷物

展覧会ポスター：B2
 展覧会チラシ：A4変形
 子どものための鑑賞ガイド：B5巻三つ折
 展覧会図録：B5版
 (デザイン:すべて野村デザイン制作室)

関連事業

講演会「ゆかた 一夏の楽しみ・くつろぎの美」

講師：長崎 巖(本展監修者／共立女子大学教授／共立女子大学博物館 館長)
 日時：7月14日(土)14:00～15:30
 会場：講義室
 参加者：26名

ワークショップ「ゆかたを美しく着るコツを学ぼう」

講師：益田美容師組合
 日時：7月15日(日)13:00～14:00
 会場：講義室
 参加者：13名

Museum×Theater ミュージアvol.5「お達者落語会」

出演：春雨や落雷(落語家、医師)
 日時：8月12日(土)14:00～15:30
 ※詳細は「ミュージア」(37ページ)に記載

中庭イベント「ゆかた納涼祭」

日時：8月12日(日)
 会場：グラントワ 中庭広場
 参加者：1,200名

グラントワ tea ガーデン「江戸茶」

日時：8月5日(日)11:00～
 会場：美術館ロビー
 参加者：85人

ゆかたWeek、ゆかたで無料!

以下の期間中、ゆかたでご来場の方を無料招待した。
 7月14日(土)～7月22日(日)、8月11日(土)～8月19日(日)

■プレゼント企画「ふたつ見て、もらおう。」

島根県立美術館の「水野美術館コレクション展 日本画の美」とのタイアップ企画。
 各会場入口でもらえるスタンプを両方集めた方にグッズをプレゼントした。
 参加者：262名(県立美術館=136名、県立石見美術館=126名)

企画展 めがねと旅する美術展



ポスター



新作アニメ《押絵ト旅スル男》

展覧会名：企画展 めがねと旅する美術展 江戸時代から現代まで「みる」ことの探求
会 期：平成30年9月15日(土)～11月12日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金

*小中高生の学校利用は入場無料

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、日本海テレビ、中国新聞社

協 賛：ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社

協 力：株式会社東京メガネ、株式会社アートボックス

後 援：芸術文化とふれあう協議会

助 成：一般財団法人 地域創造

内 容

「めがね」は視力を補うために装着する器具であるが、「遠めがね」や「虫めがね」といった用例が示すとおり、レンズも広義の「めがね」とらえられてきた。さらに「色めがね」、「おめがね」にかなうなどの言葉があるように、「めがね」にはものを見る際のフィルターといった意味も付されている。

本展では「めがね」を、世界を知るための、あるいは見えないものを見るためののぞき窓としてとらえ、江戸時代から現代までの様々な美術作品や装置、映像により、以下のように展覧会を構成した。

序章「眼×鏡—めがねと鏡の美術」

第1章「望遠鏡—世界をとらえる」

第2章「顕微鏡—秘密をのぞく」

第3章「万華鏡—動く美術」

第4章「カメラ・オブスキュラー—二次元と三次元」

第5章「色めがね—視覚をあやつる」

本展は、平成22年度の「ロボットと美術」、平成26年度の「美少女の美術史」に引き続き、青森県立美術館の工藤健志氏、静岡県立美術館の村上敬氏、そして当館川西由里の3名の学芸員によるキュレーションチーム「トリメガ研究所」による展覧会第3弾として企画された。前2展覧会に続き、本展でも展覧会のための新作アニメーションを制作、会場で上映した(江戸川乱歩原作、塚原正義監督《押絵ト旅スル男》)。SNSでの情報発信や各会場ならびに館外でのトークイベントを通じて開催地以外でも話題を集め、「美連協大賞奨励賞」を受賞した。

また本展では、石見地域出身のアーティストや島根ゆかりの作品も多くとり上げ、関連プログラムも地域性のある内容とした。

新聞、雑誌掲載

『美術の窓』2月号2月20日 展覧会紹介記事

『月刊アートコレクターズ』No.112 7月25日 インタビュー記事

『B's LOG』8月号6月20日 「押絵ト旅スル男」紹介記事

『美術の窓』8月号7月20日 展覧会紹介記事

中国新聞9月14日 「押絵ト旅スル男」紹介記事

中国新聞9月15日 展覧会開幕取材記事

山陰中央新報9月15日 展覧会開幕取材記事

中国新聞9月16日 「アーティストと旅する美術展」取材記事

読売新聞9月19日 展覧会取材記事

毎日新聞9月19日 展覧会取材記事

中国新聞9月21～25日 川西 由里 展覧会紹介記事

山陰中央新報10月5日 展覧会取材記事

中国新聞10月5日 展覧会紹介記事

朝日新聞10月12日 展覧会取材記事



会場



会場



会場



アーティストトーク(野村 康生)

中国新聞10月13日 野村 康生 益田高校での授業 取材記事
 山陰中央新報10月18日 MASプロジェクト 取材記事
 山陰中央新報10月27日 野村 康生 取材記事
 中国新聞11月1日 松江 泰治スペシャルトーク 取材記事
 山陰中央新報11月9日 1万人達成 取材記事
 中国新聞11月9日 1万人達成 取材記事
 日経新聞12月19日 展覧会取材記事
 読売新聞4月1日 美連協大賞奨励賞 取材記事

印刷物

展覧会ポスター：B2
 展覧会チラシ：A4
 子どものための鑑賞ガイド：A5巻三つ折
 (デザイン:以上すべて東京モノケ)
 展覧会図録：(株)青幻舎発行

関連事業

開幕記念イベント1「アーティストと旅する美術展」

本展出品の石見出身アーティストが自作について解説した。

講 師：大畑 稔浩(益田市出身)、野村 康生(益田市出身)、平川 紀道(浜田市出身)
 日 時：9月15日(日)11:00～12:00
 会 場：展示室D、C
 参加者：65名

開幕記念イベント2 座談会「展覧会のひみつをのぞく」

本展を企画した学芸チーム「トリメガ研究所」が展示の意図や準備の裏話などを披露した。

講 師：工藤 健志(青森県立美術館 総括学芸主幹)、村上 敬(静岡県立美術館 上席学芸員)、川西 由里(当館専門学芸員)
 日 時：9月15日(日)14:00～15:30
 会 場：講義室
 参加者：36名

科学×芸術 対談「見えない世界を見たいーサイエンスとアートとの挑戦」

身体の内側を見せるバイオイメージング技術に取り組む科学者と、4次元以上の世界や宇宙を絵画で表現する画家が、「可視化」をテーマに対談を行った。

講 師：曾我 公平(東京理科大学基礎工学部教授)、野村 康生(本展出品作家、益田市出身)
 日 時：10月13日(土)14:00～15:30
 会 場：講義室
 参加者：32名
 協 力：科研費新学術領域「レゾナンスバイオ」

松江泰治スペシャルトーク「空から見る島根県」

本展のための新作、島根県を上空から撮影した《JP-32》を、展覧会未出品作品も含めてスライドショーで公開。撮影の様態とあわせ、作家ならではの視点で島根県の「みどころ」について語った。

講 師：松江 泰治(本展出品作家)
 日 時：11月3日(土・祝)14:00～15:30
 会 場：多目的ギャラリー
 参加者：31名

ギャラリートーク

日 時：10月7日(日)、10月21日(日)、11月11日(日)いずれも14:00～
 会 場：展示室D、C

グラントワ tea ガーデン「幻想茶」

日 時：10月14日(土)11:00～

会 場：美術館ロビー

参加者：100名

地域交流プログラム

地域創造の「地域交流プログラム」として、高校生が地元出身のアーティストとふれあい、美術に親しむ機会を設けた。島根県立益田高等学校1年生の美術選択者に、同校卒業生であるアーティスト、野村康生氏が授業を行った。9月14日には事前授業として、本展展示室にて作家本人の話をききながら作品鑑賞をした。事前見学授業は美術選択者だけでなく、1年生全員で行った。野村氏に加え、同校出身のもう一人の出品作家、平川紀道氏にも作品解説に参加してもらうことができ、普段は美術に関心のない生徒たちもアーティストの生の声に触れる機会をもつことができた。

授業では「自分のコンセプトをつくる」をテーマとしたワークショップを行った。感想文からは高校生たちが自分たちの先輩から、新鮮な衝撃を受け取っていたことが分かった。美術の授業だけでなく、普段の生活や将来について、新しい視点で考える機会となったと思われる。

講 師：野村 康生

日 時：平成30年10月12日(金)13:30～16:30(45分授業3回)

会 場：島根県立益田高等学校

参加者：島根県立益田高等学校 1年生美術選択者

企画展 追悼水木しげる ゲゲゲの人生展



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 追悼水木しげる ゲゲゲの人生展

会 期：平成30年12月1日(土)～31年1月28日(月)

休 館 日：休館日 毎週火曜日 (1月2日は開館)、12月28日～1月1日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中学生／200円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県、島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、TSK山陰中央テレビ、山陰中央新報社、朝日新聞社

企画協力：水木プロダクション

協 賛：ライブアートブックス

協 力：テクノネット、クロステック

補 助：文化庁

内 容

2015年11月30日、93歳で亡くなった、水木しげるの回顧展。水木は「ゲゲゲの鬼太郎」「悪魔くん」「河童の三平」など、数多くのヒット作を生み出した漫画家としてだけでなく、作品を通じて妖怪文化を広めた妖怪研究家としても高く評価されている。本展では、水木プロダクションの全面的な協力のもと、少年期の習作、戦地で描いたスケッチ、妖怪・精霊像コレクションなど合計約390点を展示し、水木の人生を幅広く紹介した。関連イベントとして、小説家・京極夏彦氏の講演会、電子音楽の分野で活躍する檜垣智也氏による妖怪に着想を得たコンサートなどを実施した。

新聞、雑誌掲載

山陰中央新報11月18日 展覧会紹介記事

中国新聞11月22日 水木しげる未発表作品 取材記事

毎日新聞11月30日 展覧会紹介記事

山陰中央新報12月1日 展覧会開幕取材記事

中国新聞12月1日 展覧会開幕取材記事

中国新聞12月2日 京極 夏彦 講演会「水木さんの素・妖怪の元」 取材記事

山陰中央新報12月2日 京極 夏彦 講演会「水木さんの素・妖怪の元」 取材記事

山陰中央新報12月7日～1月11日 展覧会紹介記事

毎日新聞12月8日 展覧会取材記事

読売新聞12月11日 展覧会取材記事

山陰中央新報12月24日 「スマホで妖怪の音を作ろう!」 取材記事

中国新聞1月5日 水木しげる紹介記事

朝日新聞1月11日 展覧会取材記事

山陰中央新報1月12日 展覧会取材記事

山陰中央新報1月14日 グラントワ冬マルシェ 取材記事

山陰中央新報1月25日 中学生作品鑑賞 取材記事

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A3

(デザイン：グラフィックストア)

先行告知ツール

展覧会鑑賞ガイド

(デザイン：株式会社 野村デザイン制作室)



京極 夏彦講演会



鬼太郎 来たる!!



スペシャルギャラリートーク

関連事業

開幕記念スペシャルイベント
京極夏彦講演会「水木さんの素・妖怪の元」

『水木しげる漫画大全集』の監修者で小説家の京極夏彦氏に、水木しげると妖怪との関係性について講演いただいた。

日 時：12月1日(土)13:00～14:30

会 場：グラントワ小ホール

参加者：235名

鳥取県観光PRイベント「鬼太郎 来たる!!」

鳥取県から「鬼太郎くん」を呼び、来館者が「鬼太郎くん」と一緒に記念撮影ができる場を提供した。

日 時：12月2日(日)

①11:00～11:30

②13:30～14:00

③15:00～15:30

会 場：美術館ロビー

参加者：194名

スペシャルギャラリートーク

水木しげると親交のあった学芸員に、水木しげるのエピソードを交えながら展示作品について解説いただいた。

日 時：12月8日(土)14:00～14:45

講 師：岡 宏三(鳥根県立古代出雲歴史博物館 専門学芸員)

会 場：展示室D

参加者：33名

Museum×Theater：ミュージア vol.7

「わくわく そわそわ ぞくぞく 妖怪クリスマス!?—音と妖怪のふしぎな世界」

1. ワークショップ「スマホで妖怪の音を作ろう!」

講 師：檜垣 智也(音楽家・大阪芸術大学客員准教授)

日 時：12月23日(日)14:30～16:30

会 場：講義室

2. 新感覚ライブパフォーマンス「妖怪クリスマス～音による異界へのいざない～」

日 時：12月24日(月・祝) 1回目 13:30～14:15、2回目 15:30～16:15

出 演：檜垣 智也(音楽家・アコースモニウム)

会 場：グラントワ大ホール ステージ

※詳細は「ミュージア(38ページ)」に記載

グラントワ冬マルシェ

水木しげるの出身地、鳥取県境港市の名物料理かに汁などを販売した。あわせて地元、石見の飲食店も参加した。

日 時：1月13日(日)11:00～15:00

会 場：中庭広場

参加者：2,000名

グラントワ tea ガーデンI「ようかい茶」

アイシングで妖怪を描いた角砂糖を添えて紅茶を提供した。角砂糖を紅茶に入れると、妖怪たちが浮かび上がりたじろげに工夫した。

日 時：12月8日(土)11:00～

会 場：美術館ロビー

参加者：92名

グラントワ tea ガーデンII「福茶」

日 時：1月2日(水)11:00～

会 場：美術館ロビー

参加者：100名

ギャラリートーク

日時：12月22日(土)、1月3日(木)、1月12日(土)、1月26日(土)
いずれも14:00～
会場：展示室D

■プレゼント企画I「見て聴いて、もらおう!」

「ゲゲゲの人生展」と「グラントワカンター2019」、両方の当日券または前売券(企画展分はミュージアムパスポート可)を購入・提示した方、先着100名に、冬マルシェにてかに汁の引換券をプレゼントした。

参加者：17名

■プレゼント企画II「石見限定のオリジナルグッズを入手せよ!」

展覧会の先行告知ツール「しおり」を持参し、そこに書かれたクイズに正解した方に、石見限定のオリジナルグッズ(非売品)をプレゼントした。

参加者：2,421名

■石見限定特別展示I「石見神楽の面」

水木しげるが好んでいた石見神楽(石見地域の伝統芸能)の面を紹介した。

■石見限定特別展示II「石見に残る妖怪絵巻」

水木しげるが実見した英一蝶《百鬼夜行絵巻》(江戸時代、島根県大田市・物部神社蔵)を、同時期のコレクション展「不思議な生きものたち」で紹介した。

特別展

展示室A・B 特別展 島根県立美術館コレクション 色あそびの世界

会 期：平成30年7月20日(金)～9月17日(月・祝)*会期中で一部の作品を展示替

内 容：島根県立美術館のコレクションのなかから「あか」「くろ」「しろ」をテーマに、日本画・油彩画・版画・工芸など、多彩な分野にわたって表現されている色の豊かさに着目した展覧会。2014年に島根県立美術館で開催した「色のたのしさー島根県立美術館のコレクションを中心にー」(1/2～3/3)をベースに組み立て、当館の展示室の壁色(A室は赤・B室は黒)に合わせて展示した。

出品リスト

あかし(展示室A室)

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	山口 長男	劃一赤	昭和43年(1968)	油彩、板	島根県立美術館
2	石橋 和訓	鯛	昭和2年(1927)	油彩、盆	島根県立美術館
3	佐藤 一章	柘榴	昭和16年(1941)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
4	小泉 清	にわとり	昭和24年(1949)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
5	小泉 清	静物	昭和24年(1949)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
6	小泉 清	海	昭和29年(1954)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
7	小泉 清	海	不詳	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
8	絵師不詳	怪童丸	不詳	紙本着色	島根県立美術館
9	歌川 広重	日の出 松に鷹	天保～嘉永期(1830～54)	横大判錦絵	島根県立美術館
10	歌川 広重版 下絵による	東都雪見八景 洲崎雪の朝	昭和3年(1928)	横大判錦絵	島根県立美術館
11	歌川 広重	東都名所 浅草金龍山年ノ市	天保末年(1830～44)頃	横大判錦絵	島根県立美術館
12	歌川 広重	名所江戸百景 浅草金龍山	安政3年(1856)	横大判錦絵	島根県立美術館
13	浜口 陽三	突堤	昭和40年(1965)	銅板	島根県立美術館
14	横尾 忠則	龍の器I	昭和63年(1988)	シルクスクリーン	島根県立美術館
15	横尾 忠則	龍の器II	昭和63年(1988)	シルクスクリーン	島根県立美術館
16	小林 清親	川口鍋釜製造図	明治12年(1879)	多色木版	島根県立美術館
17	小林 清親	隅田川小春風	明治13年(1880)	多色木版	島根県立美術館
18	小林 清親	明治十四年一月廿六日出火 両国大火浅草橋	明治14年(1881)	多色木版	島根県立美術館
19	小林 清親	明治十四年一月廿六日出火 浜町より写両国大火	明治14年(1881)	多色木版	島根県立美術館
20	小林 清親	明治十四年二月十一日夜大火 久松町二而見る出火	明治14年(1881)	多色木版	島根県立美術館
21	橋口 五葉	長襦袢を着たる女	大正9年(1920)	多色木版	島根県立美術館
22	橋口 五葉	浴後の女	大正9年(1920)	多色木版	島根県立美術館
23	伊東 深水	対鏡	大正5年(1916)	多色木版	島根県立美術館
24	鳥居 言人	長襦袢	昭和4年(1929)	多色木版	島根県立美術館
25	—	楽山焼 色絵松竹梅図茶碗	江戸時代後期	陶土 色絵付	島根県立美術館
26	—	楽山焼 色絵海老茶碗	江戸時代後期	陶土 色絵付	島根県立美術館
27	土屋 雲善	布志名焼 色絵海老茶碗	江戸時代後期	陶土 色絵付	島根県立美術館
28	土屋 善六	布志名焼 色絵生籬に紅梅竹図茶碗	江戸時代末期～明治時代	陶土 色絵付	島根県立美術館
29	河井 寛次郎	碎苺紅盃	大正10年(1921)頃	陶土	島根県立美術館
30	河井 寛次郎	碎苺紅瓶子	大正10年(1921)頃	磁土	島根県立美術館
31	河井 寛次郎	青窯鱸血文花瓶	大正11年(1922)頃	陶土	島根県立美術館
32	河井 寛次郎	辰砂菱花瓶子	昭和17年(1942)	陶土	島根県立美術館
33	河井 寛次郎	辰砂陶板	昭和23年(1948)頃	陶土	島根県立美術館
34	河井 寛次郎	精紅餅	昭和10年(1921)頃	陶土	島根県立美術館
35	河井 寛次郎	辰砂蓋物	昭和17年(1942)頃	陶磁器	島根県立美術館
36	—	鬼の念仏(大津絵)	江戸時代後期	紙本着色	島根県立美術館
37	—	鍾馗(大津絵)	江戸時代後期	紙本着色	島根県立美術館
38	小林 清親	達磨と遊女図	明治時代後期	紙本着色	島根県立美術館
39	西 晴雲	太湖養鴨図	昭和12年(1937)	紙本着色	島根県立美術館
40	西 晴雲	梅江鵜飼図	昭和14年(1939)	紙本着色	島根県立美術館
41	西 晴雲	群蟹籠中図	昭和37年(1962)	紙本着色	島根県立美術館

しろし くろし(展示室B室)

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	香月 泰男	冬の川(東)	昭和38年(1963)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
2	歌川 広重	富士、山水(墨摺張交絵)	天保(1830～44)後期～ 弘化(1844～48)期	木版	島根県立美術館
3	歌川 広重	松、詩、こうもり(墨摺張交絵)	天保(1830～44)後期～ 弘化(1844～48)期	木版	島根県立美術館
4	長谷川 潔	コップに挿した種子草	昭和36年(1961)	銅版	島根県立美術館
5	長谷川 潔	薔薇と時	昭和36年(1961)	銅版	島根県立美術館
6	長谷川 潔	狐と葡萄(ラ・フォンテーヌ寓話)	昭和38年(1963)	銅版	島根県立美術館
7	長谷川 潔	オパリンの花瓶に挿した種子草	昭和43年(1968)	銅版	島根県立美術館
8	平塚 運一	印花布と少女	昭和23年(1948)	木版	島根県立美術館
9	平塚 運一	日光 二荒山逆光	昭和34年(1959)	木版	島根県立美術館
10	平塚 運一	午後の飛石 奈良依水園	昭和35年(1960)	木版	島根県立美術館
11	平塚 運一	十五夜	昭和32年(1957)	木版	島根県立美術館
12	平塚 運一	甲州猿橋	昭和31年(1956)	木版	島根県立美術館
13	平塚 運一	裸婦天平鬼瓦	昭和48年(1973)	木版	島根県立美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
14	橋口 五葉	化粧の女	大正7年(1918)	多色木版	島根県立美術館
15	橋口 五葉	髪梳ける女	大正9年(1920)	多色木版	島根県立美術館
16	橋口 五葉	紅筆持てる女	大正9年(1920)	多色木版	島根県立美術館
17	鳥居 言人	化粧	昭和4年(1929)	多色木版	島根県立美術館
18	伊東 深水	眉墨	昭和3年(1928)	多色木版	島根県立美術館
19	伊東 深水	髪	昭和27年(1952)	多色木版	島根県立美術館
20	小林 清親	今戸有明楼之景	明治12年(1879)	多色木版	島根県立美術館
21	小林 清親	御茶水蚩	明治12年(1879)	多色木版	島根県立美術館
22	小林 清親	九段坂五月夜	明治13年(1880)	多色木版	島根県立美術館
23	小林 清親	天王寺下衣川	明治13年(1880)	多色木版	島根県立美術館
24	小林 清親	両国花火之図	明治13年(1880)	多色木版	島根県立美術館
25	小林 清親	大川岸一之橋遠景	明治13年(1880)	多色木版	島根県立美術館
26	小林 清親	浅草夜見世	明治14年(1881)	多色木版	島根県立美術館
27	小林 清親	日本橋夜	明治14年(1881)	多色木版	島根県立美術館
28	原 清	鉄釉タミ絵(市松)文扁壺	平成7年(1995)	陶器	島根県立美術館
29	原 清	鉄釉魚文大鉢	平成9年(1997)	陶器	島根県立美術館
30	原 清	鉄釉草花文壺	平成14年(2002)	陶器	島根県立美術館
31	原 清	鉄釉草花文大壺	平成15年(2003)	陶器	島根県立美術館
32	大谷 歆到	菊桐夜藁	昭和時代(1931~1987)	木、漆/立糞	島根県立美術館

印刷物

展示会チラシ：A4変形、正方形

論考付作品リスト：A4変形、正方形(デザイン：すべて野村デザイン制作室)

上野 小麻里「島根県立美術館コレクション 色あそびの世界展」によせて

左近充 直美「色あそびのススメ」

関連事業

夏休みこどもプログラム「やってみよう色実験」

島根県立美術館から上野小麻里氏を講師に招き、色のしくみ、およびそれが美術作品にどう色が生かされているかのお話と、色の不思議を体験する色実験を行った。

講師：上野 小麻里(島根県立美術館専門学芸員)

日時：8月18日(土)10:00~12:00

会場：講義室

参加者：9名



「あそびの世界」展 作品リスト										「色あそびの世界」展 作品リスト									
No.	作家名	作品名	制作年	技法	材質	所蔵	No.	作家名	作品名	制作年	技法	材質	所蔵						
1	橋口 五葉	化粧の女	1918	多色木版	紙	島根県立美術館	1	橋口 五葉	化粧の女	1918	多色木版	紙	島根県立美術館						
2	橋口 五葉	髪梳ける女	1920	多色木版	紙	島根県立美術館	2	橋口 五葉	髪梳ける女	1920	多色木版	紙	島根県立美術館						
3	橋口 五葉	紅筆持てる女	1920	多色木版	紙	島根県立美術館	3	橋口 五葉	紅筆持てる女	1920	多色木版	紙	島根県立美術館						
4	鳥居 言人	化粧	1929	多色木版	紙	島根県立美術館	4	鳥居 言人	化粧	1929	多色木版	紙	島根県立美術館						
5	伊東 深水	眉墨	1928	多色木版	紙	島根県立美術館	5	伊東 深水	眉墨	1928	多色木版	紙	島根県立美術館						
6	伊東 深水	髪	1952	多色木版	紙	島根県立美術館	6	伊東 深水	髪	1952	多色木版	紙	島根県立美術館						
7	小林 清親	今戸有明楼之景	1879	多色木版	紙	島根県立美術館	7	小林 清親	今戸有明楼之景	1879	多色木版	紙	島根県立美術館						
8	小林 清親	御茶水蚩	1879	多色木版	紙	島根県立美術館	8	小林 清親	御茶水蚩	1879	多色木版	紙	島根県立美術館						
9	小林 清親	九段坂五月夜	1880	多色木版	紙	島根県立美術館	9	小林 清親	九段坂五月夜	1880	多色木版	紙	島根県立美術館						
10	小林 清親	天王寺下衣川	1880	多色木版	紙	島根県立美術館	10	小林 清親	天王寺下衣川	1880	多色木版	紙	島根県立美術館						
11	小林 清親	両国花火之図	1880	多色木版	紙	島根県立美術館	11	小林 清親	両国花火之図	1880	多色木版	紙	島根県立美術館						
12	小林 清親	大川岸一之橋遠景	1880	多色木版	紙	島根県立美術館	12	小林 清親	大川岸一之橋遠景	1880	多色木版	紙	島根県立美術館						
13	小林 清親	浅草夜見世	1881	多色木版	紙	島根県立美術館	13	小林 清親	浅草夜見世	1881	多色木版	紙	島根県立美術館						
14	小林 清親	日本橋夜	1881	多色木版	紙	島根県立美術館	14	小林 清親	日本橋夜	1881	多色木版	紙	島根県立美術館						
15	原 清	鉄釉タミ絵(市松)文扁壺	1995	陶器	陶器	島根県立美術館	15	原 清	鉄釉タミ絵(市松)文扁壺	1995	陶器	陶器	島根県立美術館						
16	原 清	鉄釉魚文大鉢	1997	陶器	陶器	島根県立美術館	16	原 清	鉄釉魚文大鉢	1997	陶器	陶器	島根県立美術館						
17	原 清	鉄釉草花文壺	2002	陶器	陶器	島根県立美術館	17	原 清	鉄釉草花文壺	2002	陶器	陶器	島根県立美術館						
18	原 清	鉄釉草花文大壺	2003	陶器	陶器	島根県立美術館	18	原 清	鉄釉草花文大壺	2003	陶器	陶器	島根県立美術館						
19	大谷 歆到	菊桐夜藁	昭和時代	木、漆/立糞	木、漆/立糞	島根県立美術館	19	大谷 歆到	菊桐夜藁	昭和時代	木、漆/立糞	木、漆/立糞	島根県立美術館						

論考付作品リスト 表面

この展覧会では、島根の美術史を振り返るだけでなく、現代美術の動向や、海外の美術動向にも目を向け、島根の美術界の発展や、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。

島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。

島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。

島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。

島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。

島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。

論考付作品リスト 中面

島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。

島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。

島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。

島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。

島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。

島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。島根県立美術館は、島根の文化の発展に貢献している作家の作品を紹介しています。

展示室C 特別展 THERIACA 服のかたち／体のかたち

会 期：平成30年7月27日(金)～9月9日(日)

内 容：ベルリンを拠点に活躍するデザイナー、濱田明日香手がけるファッションレーベル「THERIACA」の初の大規模展覧会。ユニークなパターンに定評のある濱田が、「ひと」から形をとるのではなく「もの」のかたちと向き合い、それを服へと落とし込んだ新作や、サイズやシルエットなど衣服の基本的な要素をとらえなおしたユニークな作品を一堂に展示した。

出品リスト

*製作者、制作年はすべて不詳

No.	作品名(文様名)	作家名	制作年	技法、材質	所蔵
かたちの服					
1	いもむし型	THERIACA (濱田 明日香)	2018年	アクリルフェルト	作家蔵
2	かかし型			アクリルフェルト	
3	T型			ウールフェルト	
4	おかっぱ型			ウールフェルト	
5	+型			ウールフェルト	
6	水たまり型			アクリルフェルト	
7	六角形			アクリルフェルト	
8	虫くい五角形			アクリルフェルト	
9	正方形			アクリルフェルト	
10	かぎ穴型			アクリルフェルト	
11	円			アクリルフェルト	
12	逆T型			アクリルフェルト	
13	上半円			アクリルフェルト	
14	変形六角形			アクリルフェルト	
15	下半円			アクリルフェルト	
16	長方形			アクリルフェルト	
17	円グラフ			アクリルフェルト	
ベッドシーツの服					
18	Tシャツ	THERIACA (濱田 明日香)	2018年	ポリエステルブロード	作家蔵
19	シャツ			ポリエステルブロード	
20	コート			ポリエステルブロード	
21	ワンピース			ポリエステルブロード	
22	エプロン			ポリエステルブロード	
23	ウエストポーチ			ポリエステルブロード	
24	バッグ			ポリエステルブロード	
ベッドシーツの服					
25	ソファ	THERIACA (濱田 明日香)	2018年	ポリエステルチュール	作家蔵
26	ルービックキューブ			ポリプロピレン不織布	
27	クッション1			コットンキルティング	
28	ダンベル			アクリルフェルト	
29	ケーキ			ヴィスコースモク・レノ	
30	クッション 2			コットンキルティング	
31	花瓶敷き			ポリエステルギンガム	
32	牛乳パック			アクリルフェルト	
33	トイレトペーパー			ヴィスコースクレープ	
34	ラビオリ			ウールフェルト	
35	はしご			ウールフェルト	
36	バレーボール			ポリエステルシフォン	
37	チーズ1			ポリプロピレン不織布	
38	チーズ2			ポリエステルメッシュ	
39	まくらカバー			コットンギンガム	
40	テーブルクロス1			ポリエステルシフォンギンガム	
41	テーブルクロス2			ポリエステルギンガム	
42	ごみ袋			ナイロンパラシュート布	
43	にんにく			ポリエステルチュール	
44	氷のう			コットンツイル	
45	エアークャップ			ポリエステルキルト芯	
46	カーペット			ポリエステル帆布	
47	レジ袋			ポリエステルメッシュ	
48	ティーバッグ			ポリエステルジャージー	
49	衣類カバー			ポリプロピレン不織布	
50	家			アクリルフェルト	
51	踏み台			コットンジャージー	

印刷物

チラシ：A4 デザイン：服部 一成

図録：A4変形 デザイン、アートディレクション：服部 一成 発行：torch press

関連事業

オープニング・トーク

濱田が本展に向けて取り組んだ新作や、これまで発表した作品、それらの制作過程について話をきいた。

日時：7月27日(金)14:30-

会場：展示室C

定員：50名(先着)

出演：濱田 明日香(THERIACAデザイナー、本展出品作家) 聞き手：廣田 理紗(当館主任学芸員)

新聞掲載

『芸術新潮』8月号8月25日 展覧会紹介記事

読売新聞9月4日 展覧会紹介記事

山陰中央新報7月28日 オープニングトーク記事

中国新聞8月8日 クリエイター養成ワークショップ 取材記事

山陰中央新報8月16日 クリエイター養成ワークショップ 取材記事



チラシ



図録

展示室A 特別展 浮世絵にみる遊び心

会 期：平成30年9月20日(木)～11月5日(月)

内 容：江戸時代後期から明治時代にかけての浮世絵を、島根県立古代出雲歴史博物館のコレクションにより紹介した。歌舞伎役者や力士などのヒーローたち、幸せを運ぶ七福神、人に見立てられた神様や動物たちなど、「遊び心」あふれる作品を展示した。本展により島根県の東西交流がより一層深まることを企図した。

出品リスト

※所蔵先はすべて島根県立古代出雲歴史博物館

No.	作者	名称	制作年	素材	種類形状
序	ええじゃないか!一ほとばしる庶民の熱気				
1	歌川 芳幾	豊饒御蔭参之図	慶応3年(1867)	木版・紙	大判 3枚続 錦絵
第1章 ヒーローってかっこいい!					
2	豊原 国周	誠忠義士伝	慶応2年(1866)	木版・紙	大判 3枚続 錦絵
3	揚洲 周延	塩谷判官館之図	明治18年(1885)	木版・紙	大判 3枚続 錦絵
4	国政(池田 友吉)	以呂波子供蔵入遊	明治17年(1884)	木版・紙	大判 3枚続 錦絵
5	歌川 豊国(三代)	鼠小紋東君新形	安政4年(1857)	木版・紙	大判 3枚続 錦絵
6	歌川 国貞(初代)	相撲絵 河津三郎祐安 俣野五郎景久 海老名源八弘鋼	文化～天保期(1815～1842)	木版・紙	大判 3枚続 錦絵
7	立川斎(歌川) 国郷	取組図 荒鹿・陣幕	安政5年(1858)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
8	歌川 豊国(三代)	勸進相撲古今五虎勝 釈迦ヶ嶽雲右衛門	弘化元年(1844)～弘化4年(1847)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
9	磯田 湖龍斎	釈迦ヶ嶽雲右衛門と女	江戸時代中期(18世紀)	木版・紙	柱絵 1枚 錦絵
第2章 幸せになりたい～					
10	歌川 国芳	午五月八日うけに入人のとし	江戸時代後期(19世紀前半)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
11	歌川 広重	春遊び福大黒	江戸時代後期(19世紀前半)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
12	歌川 広重	宝船に乗る七福神	江戸時代後期(19世紀前半)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
13	月岡 芳年	七福神酒宴之図	明治15年(1882)	木版・紙	大判 3枚 錦絵
14	河鍋 暁斎	新板大黒天福引之図	明治20年(1887)	木版・紙	大判 3枚 錦絵
15	歌川 房種	福遊び	明治18年(1885)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
16	歌川 国芳	心学稚絵説 福と寿の相撲	江戸時代後期(19世紀前半)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
17	河鍋 暁斎	貧福出替り之図	明治7年(1874)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
第3章 ユーモアあふれる神様や動物たち					
18	歌川 豊国	出雲国大社八百万神達縁結給之図	江戸時代後期(18世紀末～19世紀前半)	木版・紙	大判 3枚続 錦絵
19	歌川 国芳	江戸錦今様国尽 出雲 石見	嘉永5年(1852)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
20	月岡 芳年	大社衆んむすび	慶応4年(1868)	木版・紙	大判 2枚続 錦絵
21	江戸川 北輝	本朝振袖始素菱鳴尊妖怪降伏之図	江戸時代後期(18世紀末～19世紀前半)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
22	江戸川 北輝	大地震妖怪神宮退治之図	安政2年(1855)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
23	不明	鯨の流しもの	安政2年(1855)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
24	不明	恵比寿天申訖之記	安政2年(1855)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
25	不明	なまつ絵 安政町二丁目神無月屋	安政2年(1855)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
26	不明	なまつ絵 大黒のつち	安政2年(1855)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
27	不明	大黒に扮した鼠	不明	木版・紙	大判 1枚 錦絵
28	歌川 国利	新板ねづみのたわむれ	明治前期(19世紀後半)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
29	歌川 国利	新板鼠の戯	明治前期(19世紀後半)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
30	錦朝楼(歌川 芳虎)	新板ねこの手ならい	明治前期(19世紀後半)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
第4章 おもちゃでいっぱい!					
31	政雪	志ん板手遊づくし	江戸時代後期～明治時代	木版・紙	大判 1枚 錦絵
32	歌川 芳丸(二代目)	新板道具づくし	江戸時代後期～明治時代	木版・紙	大判 1枚 錦絵
33	深松 堂版	雛段組立の図	明治17年(1884)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
34	小林 泰二郎版	新板具足組立	明治12年(1879)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
第5章 はってくばって大繁盛					
35	吉原 秀雄	恵比寿大黒西市詣之図	明治21年(1888)	木版・紙	大判 1枚 錦絵
36	桐舟	大黒と狸々	明治時代～大正時代	木版・紙	大判 1枚 錦絵
37	不明	蒸気船を引き寄せる巨大エビス	明治時代～大正時代	木版・紙	大判 1枚 錦絵
38	春道	蒸気船 蒸気機関車 宝船	明治時代～大正時代	木版・紙	大判 1枚 錦絵

印刷物

展覧会チラシ：A4

(デザイン：株式会社イヤマデザイン)

新聞掲載

毎日新聞9月21日 展覧会紹介記事

中国新聞10月18日 展覧会紹介記事



チラシ

コレクション展

展示室A 余白の美

会 期：平成30年4月5日(木)～5月21日(月)

内 容：「余白」に注目して日本画作品を紹介。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	竹内 栖鳳	藤花薜花群犬図屏風	明治31年(1898)	紙本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
2	今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図屏風	明治33年(1900)	絹本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
3	川村 曼舟	牧牛図屏風	大正時代	絹本着色、六曲一隻	島根県立石見美術館
4	中林 竹洞	秋卉鴛鴦図		絹本着色、軸	島根県立石見美術館
5	中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
6	池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
7	柿内 青葉	池	昭和8年(1933)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
8	寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代	絹本着色、軸	島根県立石見美術館

新聞掲載

中国新聞 4月13日 展覧会紹介記事

山陰中央新報 4月19日 展覧会紹介記事

展示室A □△○ ーまるさんかくしかくー

会 期：平成30年5月23日(水)～7月16日(月)

内 容：まる、さんかく、しかく、の幾何学的な形が見いだせる作品を特集して展覧した。三種の整理された形の中に、私たちが何を見立て、何を感じてきたかを、絵画、写真、工芸など様々なジャンルの作品を通して改めて考えようとする試み。

出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	堂本 尚郎	宇宙 I	1978年	アクリル、キャンバス	島根県立石見美術館
2	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-15	1927年	紙	島根県立石見美術館
3	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-18	1926年	紙	島根県立石見美術館
4	ナゼレビッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-21	不詳	紙	島根県立石見美術館
5	ジナイダ・ベレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-26	不詳	紙	島根県立石見美術館
6	ジナイダ・ベレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-24	不詳	紙	島根県立石見美術館
7	ジョルジュ・ルパーブ	傘『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
8	マリオ・シモン	掛け時計と腕時計 カルティエの宝飾品 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924～25年	ポシヨワール、 オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
9	マリオ・シモン	ブローチと耳飾り カルティエの宝飾品 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924～25年	ポシヨワール、 オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
10	作者不詳	バゲューズによるエレガンス館の鍛鉄製 ゲート『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924～25年	ポシヨワール、 オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
11	建築デザイン：アル マン・アルベール・ラト	ジャンヌ・ランバンの邸宅『ガゼット・デュ・ ボン・トン』より	1924～25年	オフセット印刷	島根県立石見美術館
12	山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
13	山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
14	ラウル・デュフィ	「モザイク・デザイン」ピアンキーニ・フェ リエ社のためのテキスタイル・デザイン	1923年頃	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
15	ラウル・デュフィ	「四角の中のとうもろこし、マーガレット、 ケシの花」ピアンキーニ・フェリエ社のため のテキスタイル・デザイン	不詳	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
16	ラウル・デュフィ	「幾何学模様」ピアンキーニ・フェリエ社 のためのテキスタイル・デザイン	1912年	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
17	ラウル・デュフィ	「花の種蒔き」ピアンキーニ・フェリエ社 のためのテキスタイル・デザイン	不詳	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
18	ラウル・デュフィ	「貝殻」ピアンキーニ・フェリエ社のため のテキスタイル・デザイン	不詳	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
19	ダゴベルト・ペッ ヒエ	ブローチ	1916年	象牙、銀	島根県立石見美術館
20	不詳	弓浜緋(幾何文)	明治～昭和初期	木綿、手で平織り、 藍染め	個人蔵
21	不詳	弓浜緋(幾何文)	明治～昭和初期	木綿、手で平織り、 藍染め	個人蔵
22	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・ モード』11. 1919-1923年 トリスタン・ ツアラ「ガスで動く心臓」より	1925年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
23	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・ モード』15.	1924年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
24	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 10. 1924年 テキスタイル・デザ イン	1925年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
25	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 3. 1923-1924年 トリスタン・ツア ラ「ガスで動く心臓」より	1925年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
26	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・ モード』7.1915年 ポルトガルの玩具	1925年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
27	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・ モード』16.	1923年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
28	マーティン・ムン カッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーパース・ バザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・ プリント	島根県立石見美術館
29	メルヴィン・ソコ ルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・ プリント	島根県立石見美術館
30	メルヴィン・ソコ ルスキー	デルボーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・ プリント	島根県立石見美術館
31	山田 純嗣	(17-8) ○△□ (W)	2017年	ゼラチン・シルヴァー・ プリント、エッチング、 ウレタン樹脂加工	個人蔵

展示室A 山と水を描く

会 期：平成30年11月7日(水)～12月17日(月)

内 容：自然を描く絵画は、東洋では先進国であった中国で、4～5世紀頃という早い時期に成立したと考えられている。独自の自然観に基づいた絵画は山水画と呼ばれ、日本にも影響をあたえた。石見地方にゆかりの深い雪舟は、中国(当時の明国)に渡って絵を学び独特の画境をひらく。本展では、独自に雪舟の絵を学んで、雪舟末孫を称した「雲谷派」(うんこくは)の作品を紹介した。あわせて、近代以降に描かれた風景画も展示し、明治以降、西洋の美術動向を受け入れ自然を描くことの意味も変化するなかで、油彩画、日本画、水彩画といったジャンルでどのような表現が模索されたのかをみていった。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷派	四季山水図屏風	元和年間(1615～1624)	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
2	雲谷 等益	山水図屏風	寛永中期(1630年代)	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
3	曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画	島根県立石見美術館
4	中林 竹洞	湖山清遠図	天保5～8年(1834～ 1837)頃	絹本墨画	島根県立石見美術館
5	山本 梅逸	山水図	天保4年(1833)	紙本墨画	島根県立石見美術館
6	大下 藤次郎	水辺の山	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
7	大下 藤次郎	飯坂	明治40～44年 (1907～1911)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
8	大下 藤次郎	湖上の雲	明治40～44年 (1907～1911)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
9	川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正～昭和初期	油彩、絹本	島根県立石見美術館
10	鹿子木 孟郎	舞子の浜	大正3年(1914)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
11	吉田 博	風景	大正時代前期 (1911～1920)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
12	宮 芳平	水	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
13	宮 芳平	月(望月)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
14	宮 芳平	山湖	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
15	満谷 国四郎	風景	大正時代中期(1908)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
16	石井 柏亭	芙蓉湖	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

展示室A 不思議な生きものたち

会 期：平成30年12月19日(水)～平成31年2月3日(日)

内 容：現実には存在しない想像上の生きものを描いた絵や、現実に存在する生きものを不思議な存在として表現した絵を紹介した。企画展「追悼 水木しげる ゲゲゲの人生展」の開催に合わせて、水木しげるが実見した英一蝶《百鬼夜行絵巻》(江戸時代、島根県大田市・物部神社蔵)を、特別に展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	英 一蝶	百鬼夜行絵巻	江戸時代 17世紀後半～ 18世紀前半	紙本墨画淡彩、卷子、 1巻	物部神社(島根県大 田市)
2	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代初期 16世紀後半～17世紀前半	紙本墨画淡彩、6曲 1隻	島根県立石見美術館
3	等碩	牧童図	室町時代後期 16世紀前半	紙本墨画淡彩、軸、 1幅	島根県立石見美術館
4	啓孫	騎驢人物図	室町時代 16世紀後半	紙本墨画、軸、1幅	島根県立石見美術館
5	尊俊	龍虎図	室町時代後期 16世紀後半	紙本墨画、軸、対幅	島根県立石見美術館
6	松本 楓湖	八岐大蛇図	明治時代末～大正時代	絹本着色、軸、1幅	島根県立石見美術館
7	平福 百穂	七面鳥・鴨	大正3年(1914)	紙本着色、軸、対幅	島根県立石見美術館
8	和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	山崎 修二	初冬	昭和11年(1936)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
11	ラウル・デュフィ	「アポロンの馬」ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン	1912～1928年	グアッシュ、紙	島根県立石見美術館
12	ラウル・デュフィ	「蝶々」ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン	1912～1928年	プリント、紙	島根県立石見美術館
13	ラウル・デュフィ	「鳥、異国の果物と花」ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン	1912～1928年	グアッシュ、紙	島根県立石見美術館
14	ジョルジュ・バルビエ	魔法 ベアーの夜会服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
15	ラウル・デュフィ	「ジャングル」ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン	1919年	シルク、織り	島根県立石見美術館
16	ラウル・デュフィ	「海・馬・鯨・貝殻」ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン	1924年	サテン、クレープ織り	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報12月20日 展覧会紹介記事

展示室A 森鷗外と宮芳平

会 期：平成31年2月10日(日)～4月8日(月)

内 容：詩情あふれる宮芳平の油彩画や銅版画のほか、宮と森鷗外の二人にゆかりのあった画家たちの作品を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	宮 芳平	自画像	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	中村 不折	裸婦	明治33年～大正9年 (1900～1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	吉田 博	風景	明治44年～大正9年 (1911～1920)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	長原 孝太郎	風景	大正10年(1921)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	和田 英作	海神	大正7年(1918)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	山本 鼎	筍	昭和13年(1938)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	宮 芳平	風景	大正時代(1912～1925)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	宮 芳平	湖と乙女	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
9	宮 芳平	湖と乙女(月)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
10	宮 芳平	山と月	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
11	宮 芳平	月(望月)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
12	宮 芳平	田舎(三日月)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
13	宮 芳平	おぼろの太陽	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
14	宮 芳平	黒百合	昭和9年(1934)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
15	宮 芳平	茄子の木	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
16	宮 芳平	庭の花(くりん草)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
17	宮 芳平	庭の花(すみれ)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
18	宮 芳平	庭の花(桜草)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
19	宮 芳平	雨 その1	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
20	宮 芳平	雨 その2	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
21	宮 芳平	コスモス	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
22	宮 芳平	旧校舎(雪)	昭和10年(1935)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
23	宮 芳平	室内	昭和10年(1935)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
24	宮 芳平	コーヒーわかし	昭和10年(1935)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
25	宮 芳平	もろこしとトマト	昭和10年(1935)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
26	宮 芳平	茄子	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
27	宮 芳平	山(年賀状)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
28	宮 芳平	水	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
29	宮 芳平	水辺	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
30	宮 芳平	叢	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
31	宮 芳平	御神木	昭和9年(1934)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
32	宮 芳平	松	昭和10年(1935)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
33	宮 芳平	山湖	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
34	宮 芳平	ハヶ嶽	昭和9年(1934)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
35	宮 芳平	裏山	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
36	宮 芳平	山(冬の裏山)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
37	宮 芳平	雲	昭和8年(1933)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
38	宮 芳平	実のなる木	昭和10年(1935)	エッチング、紙	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報2月10日 展覧会紹介記事

朝日新聞3月8日 展覧会情報

展示室B 森英恵

会 期：平成30年2月28日(水)～5月7日(月)

内 容：「マダム・バタフライ」とも呼ばれる森英恵の、蝶を扱った作品を特集展示した。日本女性の優美さと気品を表現するものとして、またその華やかで儂い姿からファッションそのものを表すモチーフとして、森が重視してきた蝶の様々な表現を見せる展示となった。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	森 英恵	イブニングドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピースドレス。胸に蝶のモチーフをかたどった装飾。	島根県立石見美術館
2	森 英恵	イブニングドレス	1976年春夏	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。	島根県立石見美術館
3	森 英恵	イブニングコート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のイブニングコート。純金帯地(西陣織)のスカートと絹サテンと帯地のトップスで出来たショートドレス。	島根県立石見美術館
4	森 英恵	イブニングドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹ベルベットのワンピースドレス。	島根県立石見美術館
5	森 英恵	イブニングドレス	1976年春夏	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺しゅう。	島根県立石見美術館
6	ファッションハウス 森英恵 刊行	森英恵流行通信第37号	1967年10月10日	冊子	島根県立石見美術館
7	ファッションハウス 森英恵 刊行	森英恵流行通信第49号	1968年5月10日	冊子	島根県立石見美術館
8	森 英恵	スカーフ(島根県芸術文化センター アテンダントの制服)	2015年	絹にプリント	島根県立石見美術館
9	森 英恵	ポーチ(島根県芸術文化センター アテンダントの制服)	2015年	ミクスメディア、蝶のチャーム	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報 2月27日 展覧会紹介記事

展示室B 小さな宇宙 根付

会 期：平成30年5月9日(水)～7月16日(月・祝)

内 容：石見根付を中心とした江戸期の「古根付」と、戦後、観賞を主とした芸術作品として制作され続けている「現代根付」をあわせて展示紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	巖水	トンコツ(煙草入れ)	19世紀	竹	江津市(七田真コレクション)
2	中村 松間斎	猛禽図印籠	19世紀	高時絵	島根県立石見美術館
3	臥農	香入提物	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
4	富春	蓮葉に蓑亀	寛政4年(1792)	鯨歯	島根県立石見美術館
5	富春	鮑に蟹	寛政7年(1795)	象牙	島根県立石見美術館
6	富春	亀	18世紀	水牛の角	江津市(七田真コレクション)
7	富春	亀	18～19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
8	文章	猪牙に忍草と蜘蛛	文政12年(1829)	猪牙	江津市(七田真コレクション)
9	文章	鮑に蟹	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
10	文章	流木に蜘蛛	18～19世紀	黒柿	江津市(七田真コレクション)
11	文章	猪牙に百足	18～19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
12	巖水	忍草に蜘蛛	19世紀	象牙	江津市(七田真コレクション)
13	巖水	雪松に鹿	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
14	巖水	扇面に忍草	19世紀	象牙	島根県立石見美術館
15	貫満	筍切株茄子鞘豆	19世紀	黒柿	江津市(七田真コレクション)
16	貫満	稲穂に鼠	19世紀	海松	江津市(七田真コレクション)
17	貫満	和歌に蜘蛛	文政4年(1821)	象牙	江津市(七田真コレクション)
18	富永	和歌に南天	19世紀	象牙	江津市(七田真コレクション)
19	富明	猪牙に蜘蛛	18世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
20	富永	猪牙に蜘蛛	19世紀	猪牙	島根県立石見美術館
21	我補	猪牙に蟹	文化13年(1816)	猪牙	江津市(七田真コレクション)
22	作者不詳	堅田落雁	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
23	素龍	猪牙に忍草と蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
24	龍水	牛	18~19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
25	直人	蝉	18世紀	水牛の角	江津市(七田真コレクション)
26	作者不詳	枝に蝉	18~19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
27	葛川	蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
28	白龍	蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
29	作者不詳	蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
30	利治	竹に蝸牛	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
31	作者不詳	流木に蟹	18世紀	黒柿	江津市(七田真コレクション)
32	正吉	八景図	文化5年(1808)	象牙	江津市(七田真コレクション)
33	阿部 裕幸	明暗	平成17年(2005)	猪牙	島根県立石見美術館
34	前田 中	番	平成17年(2005)	猪牙	島根県立石見美術館
35	穴戸 濤雲	柿本人麿	平成17年(2005)	猪牙	島根県立石見美術館
36	田中 俊暁	おろち	平成19年(2007)	猪牙	島根県立石見美術館
37	和地 一風	月下の祈り	平成17年(2005)	猪牙、べっ甲、海松	島根県立石見美術館
38	高木 喜峰	迷い道	平成17年(2005)	猪牙	島根県立石見美術館

新聞掲載

- 山陰中央新報5月9日 展覧会紹介記事
朝日新聞5月11日 展覧会紹介記事
中国新聞5月16日 展覧会紹介記事
中国新聞5月20日 展覧会紹介記事

展示室B イラストから写真へ —ファッションを伝える・広げる—

会 期：平成30年9月20日(木)~11月5日(月)

内 容：20世紀初頭のフランスでは、ファッションデザイナーが次々と新しいスタイルを発表し、それが流行を生み出すというサイクルが生まれていた。流行は雑誌に掲載されたイラストや写真によって伝えられた。ここでは、当時のファッション雑誌に掲載された質の高いイラストや写真を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	フランシスコ・バビエル・ゴゼ	勝者になれるから、あるいは賭け事への不安 レドファンのヨットレースのための装い『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
2	フランシスコ・バビエル・ゴゼ	最初の薔薇 午前中に着るテーラード・スーツ『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
3	ベルナルド・ブーテ・ド・モンヴェル	面と向かいあって 散歩服『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
4	ジョルジュ・バルビエ	世界を支配する力 ウォルトのイブニング・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
5	ラウル・デュフィ	クロッキー No.3『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
6	フランシスコ・バビエル・ゴゼ	バラの中のバラ レドファンのガーデン・パーティーのためのドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
7	マギー・サルセド	若い母親 秋のガーデン・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
8	シャルル・マルタン	そして、これが私の気持ちです ボイルの夏服『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
9	ピエール・ムーゲル	賭け ポール・ボワレのイブニング・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
10	ジョルジュ・ルパップ	クッション『モード・エ・マニエル・ドージュルデュイ』より	1912年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
11	ジャック・ドレサ	もし彼が来なければ、私たちが13番目になるわね… ドゥーセのディナー・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
12	ジョルジュ・ルパップ	ベネロペ 部屋着『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1912年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
13	ジョルジュ・ルパップ	花の咲く木 ポール・ボワレの夏服『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
14	シャルル・エミール・カルレーグル	川 空想の衣裳『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
15	ジョルジュ・ルパップ	鏡を掲げる ジャンヌ・ランバンのディナー・ドレスと少女服『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1923年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
16	ベルナルド・ブーテ・ド・モンヴェル	秋の狩猟 狩猟用のスーツ『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1912年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
17	アンドレ・マルティ	待っていた手紙 ポール・ボワレのイブニング・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1923年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
18	アレクサンドル・イアコヴレフ	待ち合わせの時間 ポール・ボワレの午後に着るマント『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
19	フランシスコ・バビエル・ゴゼ	さようなら 散歩服『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1912年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
20	ベルナルド・ブーテ・ド・モンヴェル	古代のミニアチュール レドファンドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
21	アンドレ・マルティ	雌鹿のいる沼 ドゥイエのイブニング・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
22	シモーネ・ビュージェット	レッド・リリー ポール・ボワレのイブニング・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
23	アンドレ・マルティ	夜のお別れ パキヤンのイブニング・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
24	ジョルジュ・バルビエ	美しい女性 パキヤンの訪問着『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1912年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
25	エドワード・ガルシア・ベニート	すばらしい一日の始まり ウェディングドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1921年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
26	アンドレ・マルティ	静かな夜 ウォルトのダンサーのためのドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
27	アンドレ・マルティ	薔薇を撫でる デュイエのディナー・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1912年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
28	フランシスコ・バビエル・ゴゼ	芝居 パキヤンのコート『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1912年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
29	ピエール・プリソー	有益な忠告 シェリュイのディナー・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1912年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
30	フランシスコ・バビエル・ゴゼ	檻の中のオオカミ ウォルトの「マヤ」のコスチューム『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
31		『フェミナ』10月号	1925年発行	冊子	島根県立石見美術館
32		『フェミナ』2月号	1932年発行	冊子	島根県立石見美術館
33		『アール・ゲー・ボーテ』5月号	1933年発行	冊子	島根県立石見美術館
34	マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
35	マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーバース・バザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
36	エドワード・スタイク	F.A.ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
37	ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ヴィオネ	1939年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
38	セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
39	リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
40	ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
41	サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
42	ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
43	ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年11月	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報10月1日 展覧会紹介記事

展示室B 中世の益田氏

会 期：平成30年11月7日(水)～12月17日(月)

内 容：2018年は中世に石見地域を治めた領主、益田家の藤兼・元祥父子が毛利元就の居城を訪れ、和睦の宴を催してから450年目にあたる。これにちなみ、宴の献立や贈り物の内容を記した古文書のレプリカとともに、益田元祥の肖像画、その他益田氏に関する所蔵作品を紹介した。会期中は前年度の企画展「石見の戦国武将」で制作した「武将カード」の配布を行った。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	狩野 松栄 筆	益田元祥像	桃山時代	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
2		茶麻地緞り織胴服	室町時代末～桃山時代		島根県立石見美術館
3		茶麻地裁付袴	室町時代末～桃山時代		島根県立石見美術館
4		金箔押十二間阿古陀形筋兜	桃山時代～江戸時代初期		島根県立石見美術館
5		継ぎ合せ麻地陣羽織	江戸時代中期		島根県立石見美術館
6		益田藤兼・同元祥 安芸吉田一献手組注文【レプリカ】	原本は永禄11年(1568)		益田市 (富士ゼロックス株式会社提供)

新聞掲載

読売新聞10月16日 武将カード紹介記事
 中国新聞11月16日 中世益田を感じられる一品料理 取材記事
 読売新聞11月20日 中世益田を感じられる一品料理 取材記事
 山陰中央新報11月23日 武将カード紹介記事
 毎日新聞11月25日 中世益田を感じられる一品料理 取材記事
 山陰中央新報11月28日 中世の食再現事業 取材記事

関連事業

ミュージア vol.6 「中世の食」450年記念 「よみがえる戦国の宴」

日 時：平成30年12月15日(土)14:00～16:00

会 場：グラントワ小ホール

※詳細は「ミュージア」(37ページ)に掲載

中世益田を感じられる一品料理×グラントワコレクション展「中世の益田氏」

コレクション展「中世の益田氏」とタイアップした、歴史と食を楽しむイベント。「中世の食再現プロジェクト」から生まれた商品「はむ」「煎り酒」「与三右衛門」を使用した一品料理を、益田市内の飲食店街が考案し、提供した。

期 間：平成30年11月7日(水)～12月17日(月)

参加店舗：市丸、紺家、寿司処みのり、すすみや、鉄板ダイニングTaishi、暢べ、Foods×Bar sAku、Lemonade

展示室B ディオールとバレンシアガ

会 期：平成30年12月19日(水)～平成31年2月18日(月)

内 容：第二次大戦後の1950年代、パリは再びモードの中心地として求心力を持つ都市になった。このパリのトップモードをけん引したのが、ディオールとバレンシアガという二つのメゾン(オートクチュールの店)。今回は、それぞれのメゾンを主宰したクリスチャン・ディオールとクリストバル・バレンシアガが活躍した1950年代の作品を中心に紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのシース(さや型)・ドレス。	島根県立石見美術館
2	クリスチャン・ディオール	ディナードレス 「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォン。裏地はピンクの絹オガンザ。パフ・スリーブ、後ろ身頃にくるみボタン。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンからなるコルセットが縫いつけられている。巻きスカート、シース型のアンダースカート付き。	島根県立石見美術館
3	クリストバル・バレンシアガ	カクテルドレス	1950-51年	濃い青の絹タフタのカクテルドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエット。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。	島根県立石見美術館
4	クリスチャン・ディオール	デイドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
5	クリストバル・バレンシアガ	コートドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコートドレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。	島根県立石見美術館
6	クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグランスリーブ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスプリーツ。裏地はグレーの絹。	島根県立石見美術館
7	クリストバル・バレンシアガ	カクテルドレス	1957年	黒のシャンティイレースの「ベビードールドレス」。黒の絹のスリッパドレス。	島根県立石見美術館
8	クリスチャン・ディオール	カクテルドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。	島根県立石見美術館

展示室B 色をまとう輪郭—シャルル・マルタンとジョルジュ・ルパップのイラストレーション

会 期：平成31年2月21日(木)～4月8日(月)

内 容：アール・デコ期を代表する二人のイラストレーターの仕事、描かれたものの「輪郭」に注目し、紹介する展覧会。同じ学校で学んだ二人は、イラストレーターとしての仕事を始めた当初はモチーフの輪郭に鮮やかな色を用いるという作風の類似がみられました。第1次世界大戦などを経て、次第に輪郭は色を失い、独自の作風を確立してゆく二人の仕事からは、線の色によらない輪郭の強調や、輪郭そのものをあいまいにする表現などがみられ、その背景には描き出すテーマの変化も見られます。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジョルジュ・ルパップ	ジョルジュ・ルパップによるポール・ポワレの作品集	1911年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
2	ジョルジュ・ルパップ	化粧室 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
3	ジョルジュ・ルパップ	幕間 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
4	ジョルジュ・ルパップ	クッション 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
5	ジョルジュ・ルパップ	ごちそう 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
6	ジョルジュ・ルパップ	白テンの毛皮 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
7	ジョルジュ・ルパップ	庭での散歩 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
8	ジョルジュ・ルパップ	ジル 冬に最適なコート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
9	ジョルジュ・ルパップ	ああ!寒い… ポール・ポワレの冬用コート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
10	ジョルジュ・ルパップ	困った選択 ポール・ポワレのテーラー仕立ての服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
11	ジョルジュ・ルパップ	さくらんぼ ポール・ポワレによる田舎の服装 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
12	ジョルジュ・ルパップ	見てるわよ! 夏用の新しい袖 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
13	ジョルジュ・ルパップ	月あかり ポール・ポワレのコート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
14	ジョルジュ・ルパップ	女とあやつり人形たち マリオネット 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
15	ジョルジュ・ルパップ	嫉妬 ポール・ポワレの夜会服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
16	ジョルジュ・ルパップ	3着の新しいドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
17	ジョルジュ・ルパップ	レモン ポール・ポワレの夏服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
18	ジョルジュ・ルパップ	ヴェルサイユの庭園 ルイ14世様式のポール・ポワレの衣装 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
19	ジョルジュ・ルパップ	施し物 テーラー仕立ての服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
20	ジョルジュ・ルパップ	未来の父親 部屋着 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
21	ジョルジュ・ルパップ	あまりに暑い ポール・ポワレの夏用帽子 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
22	ジョルジュ・ルパップ	リボン 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
23	ジョルジュ・ルパップ	傘 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
24	ジョルジュ・ルパップ	晴れた日のために 帽子、日傘、手袋 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
25	ジョルジュ・ルパップ	どっちにしよう? ポール・ポワレの夜会服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
26	ジョルジュ・ルパップ	新しい色彩 ポール・ボワレの夜会服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
27	ジョルジュ・ルパップ	凧(たこ) 夏用の作業着 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
28	ジョルジュ・ルパップ	虫 屋外で遊ぶための子ども服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
29	ジョルジュ・ルパップ	休息 屋外用の仕事着 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
30	ジョルジュ・ルパップ	赤紫色のコート ポール・ボワレの夜会用コート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
31	ジョルジュ・ルパップ	フローラ(花) 室内用ドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
32	ジョルジュ・ルパップ	ハリケーン 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1915年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
33	ジョルジュ・ルパップ	病院 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
34	ジョルジュ・ルパップ	告別 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1915年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
35	ジョルジュ・ルパップ	最愛の人の不在 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1916年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
36	ジョルジュ・ルパップ	郷愁 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1917年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
37	ジョルジュ・ルパップ	11時 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1918年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
38	ジョルジュ・ルパップ	フォックス・トロット 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1919年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
39	ジョルジュ・ルパップ	アンティネア ポール・ボワレの夜会用コート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
40	ジョルジュ・ルパップ	金の扇 扇とプレスレット 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
41	ジョルジュ・ルパップ	舞踏 ポール・ボワレの夜会用コート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
42	ジョルジュ・ルパップ	嵐だ! ポール・ボワレのアフタヌーン・ドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
43	ジョルジュ・ルパップ	収穫 チェック柄の平織り地のドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1921年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
44	ジョルジュ・ルパップ	アルマンの好戦的な衣装 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
45	ジョルジュ・ルパップ	美しいインペリア ビアンキーニによるベルベットのイブニング・コート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1921年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
46	ジョルジュ・ルパップ	訪問 ジャンヌ・ランバンのコート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924~ 1925年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
47	ジョルジュ・ルパップ	パリの判決 ジャンヌ・ランバンの異性装と玉飾りの美しい宝石 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924~ 1925年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
48	ジョルジュ・ルパップ	マリアンヌと 彼女の母と叔母 ジャンヌ・ランバンの夜会用のコートとドレス、少女服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924~ 1925年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
49	シャルル・マルタン	雪 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
50	シャルル・マルタン	ミュール 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
51	シャルル・マルタン	ホタル 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
52	シャルル・マルタン	歩道橋 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
53	シャルル・マルタン	雷雨 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
54	シャルル・マルタン	音楽 『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
55	シャルル・マルタン	鳥小屋 パキャンの空想の衣装 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
56	シャルル・マルタン	カンカン2世 レドファンの競技のためのドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
57	シャルル・マルタン	りんごの唇 レドファンの異性装 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
58	シャルル・マルタン	素敵なツリー クリスマスのための子供服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
59	シャルル・マルタン	アフロディーテ 女神の庭園で 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
60	シャルル・マルタン	ダンス ポール・ボワレの夜会用ケープ 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
61	シャルル・マルタン	ヨセフ伝説 第二幕の演技 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
62	シャルル・マルタン	美しいトルカティエンヌ 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
63	シャルル・マルタン	磁器の帽子 トルクアートのモードと方法 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
64	シャルル・マルタン	愛する人の死 トルクアートのモードと方法 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
65	シャルル・マルタン	ためらい ベアーのだらしな恰好 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
66	シャルル・マルタン	「準備できません!」または初動の犠牲者 ベッカーと息子による室内着 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
67	シャルル・マルタン	モントマルトルに散歩 ベアーのアンサンブル 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
68	シャルル・マルタン	ヒンドウスタン ポール・ポワレのドレスとコート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
69	シャルル・マルタン	スペイン王女の庭 ポール・ポワレのイブニング・ドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
70	シャルル・マルタン	黄色のマドラス 夜の髪型 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
71	シャルル・マルタン	関係 ポール・ポワレのスポーツ用コート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1921年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
72	シャルル・マルタン	憂鬱な結婚式 トルクアートのモードと方法 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1921年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
73	シャルル・マルタン	トルクアート愛好家 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1921年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
74	シャルル・マルタン	カントリーガール 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1921年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
75	シャルル・マルタン	軽いボートを私に返してください… 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
76	シャルル・マルタン	夏 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
77	シャルル・マルタン	庭のバラ ジャンヌ・ランバンのドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
78	シャルル・マルタン	シャモニー(冬のリゾート地)の美女 ルロワのアーミンと白キツネのジャケット 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
79	シャルル・マルタン	明星 ルロワの毛皮のコート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
80	シャルル・マルタン	冬 ルロワのテラ仕立てのコート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
81	シャルル・マルタン	郊外の散歩 ルロワの毛皮のコート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報 2月21日 展覧会紹介記事

展示室C ランバンと子どもの装い

会 期：平成30年4月25日(水)～6月4日(月)

内 容：現在も続くオートクチュールメゾン「LANVAN(ランバン)」の創始者であるジャンヌ・ランバン(1867-1946)の仕事をもとめて紹介した。併せて、彼女に強い影響を与えた子ども服についても、19世紀後半の作例から紐解き紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1		《参考パネル》ジャンヌ・ランバンの店(ドレスの試着室) 『レ・モード』1912年2月号より 写真：アンリ・マニュエル	1912年		島根県立石見美術館
2		《参考パネル》ジャンヌ・ランバンの店(帽子の試着室) 『レ・モード』1912年2月号より 写真：アンリ・マニュエル	1912年		島根県立石見美術館
3	ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアップリケワーク。バイアスカット。	島根県立石見美術館
4	ジャンヌ・ランバン	イブニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピースドレス。ボディとスカート上部に金銀のスパンコールなどによる刺しゅう。	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
5		『レ・モード』1908年4月号 ジャンヌ・ランバンの帽子とドレス ドレスデザイン:ジャンヌ・ランバン 写真:シュリー・ルソー	1908年	冊子(写真をグラビア印刷)	島根県立石見美術館
6		『レ・モード』1909年6月号 ジャンヌ・ランバンのディナー・ドレスと帽子 ドレスデザイン:ジャンヌ・ランバン 写真:アンリ・マニュエル	1909年	冊子(写真をグラビア印刷)	島根県立石見美術館
7		『レ・モード』1911年5月号 ジャンヌ・ランバンの衣装 ドレスデザイン:ジャンヌ・ランバン 写真:ポール・ナダール	1911年	冊子(写真をグラビア印刷)	島根県立石見美術館
8		『レ・モード』1913年6月号 ジャンヌ・ランバンのドレスと帽子 ドレスデザイン:ジャンヌ・ランバン 写真:ポール・ナダール	1913年	冊子(写真をグラビア印刷)	島根県立石見美術館
9	ピエール・プリソー	ビバ!サン・シール! ジャンヌ・ランバンの夏服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
10	ピエール・プリソー	学校はどうだった? ジャンヌ・ランバンの風変わりなテーラード・スーツ 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
11	ピエール・プリソー	こんにちは ジャンヌ・ランバンの若い姉妹のためのアフタヌーン・ドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
12	ピエール・プリソー	あなたのお母さんは元気? ジャンヌ・ランバンの午前のテーラーと少女服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
13	アンドレ・マルティ	私にも抱かせて ジャンヌ・ランバンのドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
14	アンドレ・マルティ	ザクロを持つ子ども ジャンヌ・ランバンのドレスと子ども用コート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
15	ジョルジュ・ルパップ	マダムV.R.とその娘の肖像 ジャンヌ・ランバンのドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
16	ジョルジュ・ルパップ	静かに!…眠ってるわ ジャンヌ・ランバンの室内着と子ども用コート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
17	アンドレ・マルティ	いいお顔 ジャンヌ・ランバンの若い女性用のドレスと少女服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1923年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
18	アンドレ・マルティ	ひわ鳥の巣 ジャンヌ・ランバンのアフタヌーン・ドレスと少女服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
19	ジョルジュ・ルパップ	鏡を掲げる ジャンヌ・ランバンのディナー・ドレスと少女服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1923年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
20	ジョルジュ・ルパップ	散歩の時間 ジャンヌ・ランバンのマントー 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1923年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
21	ジョルジュ・ルパップ	楽譜入れ ジャンヌ・ランバンのアフタヌーン・ドレスと少女服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924~25年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
22	ジョルジュ・ルパップ	急ごしらえのキャディ ジャンヌ・ランバンのゴルフウェアと少女服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924~25年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
23	ピエール・プリソー	パーティはおしまいよ ジャンヌ・ランバンのオーガンジーのドレスと女兒服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
24	ピエール・プリソー	キャプシーヌ(輪おどり)をおどろうよ ジャンヌ・ランバンの夏のドレスと子どもたちのためのドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1921年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
25	ジョルジュ・ルパップ	ロンギ ジャンヌ・ランバンの夜会服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924~25年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
26	作者不明	女兒用サマー・ドレス	1880年頃	青色綿のサマー・ドレス。全体に白糸のミン刺しゅうと手刺しゅう。レースの飾り。両脇に大きな飾りポケット。背中に貝ボタンの装飾。	島根県立石見美術館
27	作者不明	女兒用ドレス	1880年頃	小花模様を織り込んだベージュ色の絹のワンピース・ドレス。前身ごろに細かなひだ飾り。襟とスカートにスカラップ(ホタテ貝の貝殻)型の縁飾り。後方に大きなボウ飾り。	島根県立石見美術館
28	作者不明	女兒用コート・ドレス	1880年頃	赤色絹のグログランのコート・ドレス。ピンク色の絹ファイユの胸当て。セラー・カラーと大きな飾りポケットの装飾。七宝のボタン。	島根県立石見美術館
29	作者不明	女兒用サマー・ドレス	1880~90年頃	赤色と白色の細かいチェック地の綿サマー・ドレス。インナーにピンタックのある白色綿ブラウスを着用。襟、袖、スカート裾に白糸で刺しゅう。	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
30	作者不明	女児用ドレス	1890年頃	クリーム色の絹のワンピース・ドレス。高い位置にウエストライン。大きくふくらんだ袖。全体レースの差し込みと刺しゅうの装飾。	島根県立石見美術館
31	ケイト・グリーンウェイ	『窓の下で』	1879年	冊子(木口木版)	島根県立石見美術館
32	ケイト・グリーンウェイ	『子どもの一日』	1881年	冊子(木口木版)	島根県立石見美術館
33	ルイ＝モーリス・ブテ・ド・モンヴェル	『幼い子供たちのための古い歌』	1883年	冊子(リトグラフ)	島根県立石見美術館
34	ジョルジュ・バルビエ	ヴィシー すべて順調です『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1915年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
35	ジョルジュ・バルビエ	ヴィシー 人形劇のゲーム『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1915年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
36	シャルル・エミール・カルレーグル	伯父さん 子ども服『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
37	シャルル・マルタン	魔法の木 クリスマスの装い『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
38	mfn	黄色とチェックで飾ったラチネ織りの白いマントー、白と黒のセーラー服、白黒のファックステリア犬『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
39	mfn	プリントしたタオルのドレス『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
40	mfn	白地に黄色い水玉模様のドレス サクランボ色と緑色のチェックの少女服『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
41	mfn	朝の装い『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
42	アンドレ・マルティ	公園の朝『モード・エ・マニエル・ドールジュルデュイ』より	1919年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
43	ロベール・ボンフィス	兵隊の日『モード・エ・マニエル・ドールジュルデュイ』より	1920年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館

新聞掲載

朝日新聞 4月27日 展覧会紹介記事

朝日新聞 5月16日 廣田 理紗 作品紹介

展示室C 夏の和装

会 期：平成30年6月6日(水)～7月22日(日)

内 容：企画展「ゆかた 浴衣 YUKATA」開催にあわせ、所蔵作品から夏の和装を描いた作品を紹介。あわせて、大正時代末から昭和初期の婦人雑誌に掲載された浴衣の装いの紹介記事を展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岡田 三郎助	黒き帯	大正4年(1915)	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
2	小早川 清	旗亭涼宵	昭和8年(1933)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
3	小早川 清	宵	昭和11年(1936)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
4	橋本 明治	蓮を聴く	昭和6年(1931)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
5	山田 喜作	湘南初夏	昭和3年(1928)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
6	菊池 隆志	初夏遊園	昭和3年(1928)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
7	島崎 柳塙	潮風	明治時代後期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
8	伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
9	(参考資料)	『婦人グラフ』	大正14年8月号、昭和2年6、8、9月号、昭和3年6、8月号	雑誌	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報 6月6日 展覧会紹介記事

毎日新聞 6月15日 展覧会紹介記事

山陰中央新報 7月20日 展覧会紹介記事

展示室C 空間を奏でる—澄川 喜一の彫刻

会 期：平成30年11月16日(金)～平成31年1月21日(月)

内 容：澄川 喜一の作品を鑑賞する際、展示空間のなかでリズムを奏でるような視線の動線と、存在感の軽やかさや爽快感を感じながら、彫刻の林立する空間を歩いてもらえるよう展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	澄川 喜一	そのあるかたち	1996年	ブロンズ	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
2	澄川 喜一	そのあるかたちA	2008年	樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
3	澄川 喜一	そのあるかたち	2007年	神代樺、樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
4	澄川 喜一	そのあるかたち02-4	2002年	松	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
5	澄川 喜一	そのあるかたちD	2012年	神代樺、樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
6	澄川 喜一	そのあるかたち02-1	2002年	樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
7	澄川 喜一	そのあるかたち	1979年	樺、カランタス	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
8	澄川 喜一	木霊	2007年	檜、樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
9	澄川 喜一	木霊A	2007年	檜、樟	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
10	澄川 喜一	そのあるかたち	1985年	樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
11	澄川 喜一	そのあるかたちA	2011年	樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
12	澄川 喜一	そのあるかたちB	2012年	樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)

展示室C あなたはどう見る？ よく見て話そう美術について

会 期：平成31年1月23日(水)～3月4日(月)

内 容：キャプションや解説をつけずに作品を展示する企画。会期中には県内の教員による鑑賞教育の研究グループ「みるみるの会」のナビゲートで意見交換をしながら作品を鑑賞する「みるみるととてみる？」を開催した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	アーヴィン・ブリューメンフェルド	エリザベス・アーデンの広告写真のための習作「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1948年頃 (1984年プリント)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
2	アーヴィン・ブリューメンフェルド	キュビズムで表現された紫のヌード「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1949年頃 (1984年プリント)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
3	アーヴィン・ブリューメンフェルド	モデルとマネキン、表紙のための習作「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1945年頃 (1984年プリント)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
4	大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	島根県立石見美術館
5	山本 鼎	タケノコ	1938年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
7	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-16	不詳	紙	島根県立石見美術館
8	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-28	1929年	紙	島根県立石見美術館
9	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-36	1931年	紙	島根県立石見美術館
10	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-10	不詳	紙	島根県立石見美術館
11	チャールズ・ジェームス	ディナードレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。	島根県立石見美術館
12	森 英恵	イブニングコート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のイブニングコート、ショートドレスのスカート。ショートドレスのトップスは絹サテンと帯地。アンダーウェア付。	島根県立石見美術館
13	森 英恵	イブニングドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピースドレス。胸に蝶のか地をかたどった装飾。	島根県立石見美術館
14	森 英恵	ドレス	1976年春夏	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール付。	島根県立石見美術館
15	森 英恵	イブニングドレス	1976年春夏	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺しゅう。	島根県立石見美術館
16	クリスチャン・ディオール／マルク・ボアン	ディナードレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オーガンザ。七分丈スリーブ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
17	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-31	1930年	紙	島根県立石見美術館
18	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-1	1928年	紙	島根県立石見美術館
19	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-11	1928年	紙	島根県立石見美術館
20	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-24	1925年	紙	島根県立石見美術館
21	小田 一磨	石見有福温泉	1950年	木版、紙	島根県立石見美術館
22	石井 柏亭	芙蓉湖	1973年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
23	大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
24	アーヴィン・ブリューメンフェルド	水による効果、表紙のための習作「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1950年 (1984年プリント)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
25	サラ・ムーン	『ヴォーヴ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
26	アーヴィン・ブリューメンフェルド	歪んだヌード「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1950年頃 (1984年プリント)	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
27	東郷 青児	婦人像	1930-1935年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
28	マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、厚手の網目漉き紙	島根県立石見美術館
29	マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、厚手の網目漉き紙	島根県立石見美術館
30	小島 善三郎	椅子による	1925~28年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

関連事業

みるみるとみて見る？

日 時：1月27日(日)、2月3日(日)、2月17日(日)、2月24日(日) 各日14:00-

会 場：展示室C

新聞掲載

中国新聞1月26日 展覧会紹介記事

読売新聞2月16日 展覧会紹介記事

展示室C デュフィとポワレ

会 期：平成30年3月8日(金)~4月22日(月)

内 容：1910年代から30年代にかけて活躍したファッションデザイナー、ポール・ポワレは数多くのアーティストとの共働により、自らのブランドイメージを高めていった。本展では中でもその代表格として知られる画家のラウル・デュフィとのコラボレーションに注目し、二人の仕事と、共働の軌跡を衣装やテキスタイル、写真、版画などを通して紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラウル・デュフィ	水上の祭	1920~22年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「ドーヴィルまたはレガッタ」	1925年頃	シルクにプリント ポール・ポワレのためのデザイン	島根県立石見美術館
3	ポール・ポワレ	ディ・ドレス	1925年	グログラン・シルク地に海辺のシーンをプリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト	島根県立石見美術館
4	ポール・ポワレ	ガーデン・パーティ・ドレス	1911年	アイボリー色のオーガンジー、ボディスとスカート裾の部分に花弁の形のアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒のベルベット	島根県立石見美術館
5	ポール・ポワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地。Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
6	ポール・ポワレ	ディ・ドレス「ブリトンヌ」	1921年頃	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディスの中央にフックファスター、ウエスト前部にゴム	島根県立石見美術館
7	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「ダンス」	1914年	トワール・ドゥ・トゥールノン(麻布)にプリント	島根県立石見美術館
8	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「アラム」	1919年	トワール・ドゥ・トゥールノン(麻布)に濃紺のインクでプリント	島根県立石見美術館
		ポール・ポワレのドレス、ピアンキーニ＝フェリエ社のためにデュフィがデザインしたテキスタイル《アラム》による	1919年	データ提供：パリ公文書館	島根県立石見美術館
		ポール・ポワレのドレスピアンキーニ＝フェリエ社のためにデュフィがデザインしたテキスタイル《園芸》による	1924年	データ提供：パリ公文書館	島根県立石見美術館
		ポール・ポワレのドレスピアンキーニ＝フェリエ社のためにデュフィがデザインしたテキスタイル《オウム》による	1920年	データ提供：パリ公文書館	島根県立石見美術館
		ポール・ポワレのドレスピアンキーニ＝フェリエ社のためにデュフィがデザインしたテキスタイル《チューリップ》による	1920年	データ提供：パリ公文書館	島根県立石見美術館
		ポール・ポワレのドレスピアンキーニ＝フェリエ社のためにデュフィがデザインしたテキスタイル《アルファベットと花》による	1924年	データ提供：パリ公文書館	島根県立石見美術館
9	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「虎と象」	1914年頃	紙にテキスタイルと同じデザインを緑・黒色プリント	島根県立石見美術館
10	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「スケートをする人々」	1914年頃	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
11	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「チューリップ」	1914年	紙にレリーフ・プリント、4点のシルク布サンプル添付	島根県立石見美術館
12	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「スケートをする人々」	1914年	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
13	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「図案化された花」	制作年不詳	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
14	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「園芸」	1923年頃	紙にレリーフ・プリント ポール・ポワレのためのデザイン	島根県立石見美術館
15	ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
16	ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
17	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「ダンス」	1911年	木版、紙	島根県立石見美術館
18	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「鳥、異国の果物と花」	1912～1928年	木版、紙	島根県立石見美術館
19	ラウル・デュフィ	春のファッション クロッキー No.1	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
20	ラウル・デュフィ	春のファッション クロッキー No.2	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
21	ラウル・デュフィ	春のファッション クロッキー No.3	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
22	ラウル・デュフィ	春のファッション クロッキー No.4	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
23	ラウル・デュフィ	春のファッション クロッキー No.5	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
24	ラウル・デュフィ	春のファッション クロッキー No.6	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
25	ラウル・デュフィ	春のファッション クロッキー No.7	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
26	ラウル・デュフィ	春のファッション クロッキー No.8	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
27	ジョルジュ・ルパップ	花の木 ポール・ポワレの午後のドレス	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
28	シモーヌ・A・ブジェ	「サロメ」 ポール・ポワレの夜のドレス	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
29	マリオ・シモン	蜃気楼 ポール・ポワレの夜のドレス	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
30	マリオ・シモン	マリオシモンによる夏のファッションの素描 ポール・ポワレ、ランパン	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
31	ドリアン	未来の花嫁 ポール・ポワレの花嫁とブライズメイドの衣装	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
32	アンドレ・マルティ	ちょっと空気を ポール・ポワレの夜のドレス	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
33	アンドレ・マルティ	田舎の楽しみ ポール・ポワレのドレス	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
34	アンドレ・マルティ	ベネツィアン・ガラス ポール・ポワレの舞台衣装	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
35	アンドレ・マルティ	「6人についてどう思いますか」あるいは私たちは静かにはなれない ポール・ポワレの夜のドレス	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
36	アンドレ・マルティ	春が来た ポール・ポワレの午後のドレス	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
37	アンドレ・マルティ	飼いならされた雌鹿 ポール・ポワレのドレス	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
38	アンドレ・マルティ	葉っぱのロンド ポール・ボワレのテーラードのスリーピース	1923年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
39	アンドレ・マルティ	こんばんは、マダム ポール・ボワレの夜のコート	1923年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
40	アンドレ・マルティ	予想される手紙 ポール・ボワレの夜のドレス	1923年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
41	アンドレ・マルティ	夕食の後、公園で ポール・ボワレの夜のドレス	1924年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
42	アンドレ・マルティ	クークー!(ここよ!) ポール・ボワレのドレス	1924~ 1925年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
43	アンドレ・マルティ	もっと回して!早く! ポール・ボワレのドレス	1924年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
44	アンドレ・マルティ	助言を与える ポール・ボワレの夜のドレス	1924~ 1925年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
45	アンドレ・マルティ	誠実な崇拜者 ポール・ボワレの夜のドレス	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
46	アンドレ・マルティ	心の中で ポール・ボワレの夜のドレス	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
47	アンドレ・マルティ	鳩 ポール・ボワレの夜のドレス	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
48	アンドレ・マルティ	パフ ポール・ボワレの夜のドレス	1924年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
49	アンドレ・マルティ	お城でのディナー(夕食会) ポール・ボワレの夜のコート	1923年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
50	アンドレ・マルティ	彼は私のことを考えているかしら? ポール・ボワレのドレス	1921年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
51	アンドレ・マルティ	私よ ポール・ボワレのコート	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
52	アンドレ・マルティ	美しい人、あるいは、ついでに一瞥する ポール・ボワレの夜のコート	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
53	アンドレ・マルティ	ショート・ヘアの三美神とヴィーナス ポール・ボワレの夜のコートとドレス	1924~ 1925年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
54	ジャン・ルイ・ブ サンゴ	ブサンゴのサロン ポール・ボワレのドレス	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
55	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「オルフェの行列」	1913年頃	シルクのジャガード織り、紫と黄の色違い サンプル2点添付	島根県立石見美術館
56	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「パラダイスの鳥・果物・葉」	1912年	シルクのジャガード織り	島根県立石見美術館
57	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「オウム」	1918年	絹クレープにプリント	島根県立石見美術館
58	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「アルファベットと花」	1922年	シルクにプリント、 ポール・ボワレのための デザイン	島根県立石見美術館
59	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「ヨーロッパの果物」	1919年	シルクのジャガード織り	島根県立石見美術館
60	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「花」	1911年	青色のカットベルベット、 ベースは淡い緑色のサテン地	島根県立石見美術館

雑誌掲載

『ミセス』5月号4月5日 展覧会紹介記事

第51回島根県総合美術展(県展)移動展

会 期：平成31年2月7日(木)～2月10日(日)

会 場：展示室D

主 催：島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

第37回 益田市美術展

会 期：平成31年2月14日(木)～2月17日(日)

会 場：展示室D

主 催：益田市美術展実行委員会

全島根小中学校図画作品展 益田展

会 期：平成31年2月23日(土)～2月25日(月)

会 場：展示室D

主 催：島根県造形教育研究会、島根県立石見美術館

ミュージアム



お達者落語会チラシ



お達者落語会



よみがえる戦国の宴ポスター

ミュージアム

平成29年度より、島根県立いわみ芸術劇場とともに島根県芸術文化センター「グラントワ」を形成する当館の持ち味をいかす事業として、「Museum×Theater：ミュージアム」と題した、劇場と美術館との連携事業を開始した。

平成30年度は、以下の3つの事業を開催した。

Museum×Theater：ミュージアムvol.5

お達者落語会

企画展「ゆかた 浴衣 YUKATA」の関連プログラムとして実施。ゆかたと同じく江戸時代にうまれた芸能、落語に注目し、落語会を開催。島根県内外で活躍する落語家で医師の春雨や落雷師匠を招き、古典落語と医師としての経験に基づいた健康講話の二部構成とした。

第1部 春雨や落雷師匠 江戸古典落語

第2部 医学博士 阿部 正之先生 健康講話『笑って健康』笑いと免疫力そして…健康』

日 時：8月12日(日)14:00～15:30

会 場：グラントワ スタジオ1

出 演：春雨や落雷

参加者：80名

Museum×Theater：ミュージアムvol.6

「中世の食」450年記念 よみがえる戦国の宴

コレクション展「中世の益田氏」の関連プログラムとして実施。第1部では、益田氏が毛利をもてなした献立の一部を、益田「中世の食」再現プロジェクトが古文書にもとづき再現した、「中世益田の祝い膳」をふるまった。第2部では、毛利氏のお抱え狂言師であった驚流狂言を今に伝える「山口驚流狂言保存会」による、戦国時代にも楽しまれた狂言を上演。狂言や、益田氏と毛利氏の関係を解説するトークも実施。入場者には、中世の食再現プロジェクトから生まれた一品料理とお酒をふるまった。

第1部 益田家の祝い膳を味わう(限定40食)

第2部 毛利家ゆかりの驚流狂言を観る 「鬼瓦」「棒縛り」

日 時：平成30年12月15日(土)第1部 14:00～14:30、第2部 15:00～16:00

会 場：第1部 多目的ギャラリー、第2部 グラントワ小ホール

第1部料理提供：中世の食再現プロジェクト

第2部出演：山口驚流狂言保存会

補 助：文化庁(平成30年度 地域と連携した美術館・博物館活動支援事業)

参加者：第1部・第2部とおし=40名、第2部のみ=97名

新聞掲載

読売新聞12月13日 取材記事

中国新聞12月16日 取材記事

山陰中央新報12月16日 取材記事



よみがえる戦国の宴 第1部で提供した「祝い膳」



よみがえる戦国の宴 第2部 山口鷺流狂言「棒縛り」

はは水木いづ げげの人生展 わくわく そわそわ ぞくぞく

MUSEUM X THEATER : ミュージシア vol.7

妖怪 クリスマス!?

一音と妖怪のふしぎな世界

今回のミュージシアでは、電子音楽の分野で活躍している檜垣智也氏をお招きし、「言」を通じて「妖怪」や「異界」を感じることのできるイベントを開催します。

関連イベント

12月23日(日) ワークショップ
12月24日(月・祝) ライブパフォーマンス
12月24日(月・祝) 他 グラントワ「妖怪廊」

クラントワ Grand Tak

妖怪クリスマスチラシ

Museum×Theater : ミュージシアvol.7

わくわく そわそわ ぞくぞく 妖怪クリスマス!? 一音と妖怪のふしぎな世界

企画展「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」の関連プログラムとして実施。

ワークショップではスマホのアプリ「Wave Pad」を用いて妖怪たちが発する音を想像して作り、出来上がった音をグラントワの回廊で再生する「グラントワ「妖怪廊」」を実施した。

ライブパフォーマンスでは、石州瓦の音など地域の素材も使って新作した電子音楽を、「アコースモニウム(空間音響装置)」を用いて暗闇の中で演奏した。

ワークショップ「スマホで妖怪の音を作ろう!」

日 時 : 12月23日(日)14:30~16:30

会 場 : 講義室

講 師 : 檜垣 智也(音楽家・大阪芸術大学客員准教授)

参加者 : 20名

ライブパフォーマンス「妖怪クリスマス~音による異界へのいざない」

日 時 : 12月24日(月・祝)1回目 13:30~14:15、2回目 15:30~16:15

会 場 : グラントワ大ホール ステージ

講 師 : 檜垣 智也(音楽家・アコースモニウム)

参加者 : 各40名

新聞掲載

山陰中央新報12月24日 ワークショップ取材記事



ワークショップ



ライブパフォーマンス

ファッションクリエイター
トレーニング
ワークショップ
Vol.2
「かたちをまとう」

参加者募集

課題：身の回りのものからかたちをとり、
着て動いたときに面白い見え方になる服
をつくる

2018年7月28日(土)
29日(日)
30日(月)
3日間連続講座

島根県立石見美術館
島根県芸術文化センター「グラントウ」内

ファッションワークショップチラシ



ワークショップの様子



ワークショップの様子

【ファッション・クリエイター・トレーニング・ワークショップ】

Vol.2「かたちをまとう」

ファッションの分野で創造性の高い活動を行う次世代の育成を目的に、平成28年度よりスタートした滞在型ワークショップ。第2回となる今回は、サイズやシルエットなど、衣服の基本的な要素を問う手芸本の出版や、ギャラリーや書店を会場にした衣装作品の発表など、既存のファッションブランドのあり方にとらわれずに活動を展開しているベルリン在住のデザイナー、濱田明日香を講師に迎えた。濱田からは「身の回りのものからかたちをとり、着て動いたときに面白い見え方になる服をつくる」という課題が示された。課題に取り組むことで、身の回りにある様々なものの形状のユニークさへの気づきと、衣服と体の関係、ひいては「衣服とは何か」といった装いにまつわる根源的な事柄について考える機会となることが期待された。今回は濱田自身によるSNSを通じた事業告知の効果が高かった。告知を開始するとほどなくして定員に達した。北海道、東京、関西方面と遠方からの参加が多くみられ、そのほとんどが当館には初めて来館する者であった。

日 時：平成30年7月28日(土)～30日(月) いずれも10時から17時頃まで

会 場：島根県立石見美術館 展示室C、スタジオ1、多目的ギャラリー など

講 師：濱田 明日香(ファッションレーベル「THERIACA」を主宰)

参加者：20名(島根県内をはじめ、大阪府、京都府、兵庫県、山梨県、北海道などから)

【講座・講演など】

島根県造形教育研究会 夏季研修会

講 座「アートカードを用いた「対話による鑑賞」の授業について」

日 時：平成30年8月6日(月)

講 師：廣田 理紗

会 場：島根県立美術館 講義室

参加者：島根県造形教育研究会会員

トリメガ研究所トークショー「めがねを愛する私たち」

日 時：平成30年7月21日(土)13:30～15:00

出 演：工藤 健志(青森県立美術館統括学芸主幹)、村上 敬(静岡県立美術館上席学芸員)、川西 由里(当館専門学芸員)

会 場：青森県立美術館 B2F休憩スペース

トークイベント「めがねと旅する美術展」東京飛地展示

日 時：平成30年7月22日(日)15:00～

出 演：工藤 健志、村上 敬、川西 由里

会 場：カマタ_ソーコ

トークイベント「めがねがあぶりだす人の夢」

日 時：平成30年8月29日(水)19:30～21:00

出 演：工藤 健志、村上 敬、川西 由里

会 場：銀座 蔦屋書店

参加者：28名

「木学XYLOLOGY」座談会

日 時：平成30年10月28日(日)16:30～18:00

登壇者：金巻 芳俊(木彫家)、永島 信也(木彫家)、小畑 多丘(木彫家)、中村 恒克(木彫家)、工藤 健志、村上 敬、川西 由里

会 場：旧平櫛田中邸アトリエ

参加者：30名

トリメガ研究所トークショー

日 時：平成30年11月23日(金・祝)14:00～15:30

出 演：工藤 健志、村上 敬、川西 由里

会 場：静岡県立美術館 講堂

参加者：77名

【非常勤講師としての授業】

平成27年度より島根県立石見高等看護学院での芸術(美術)の授業を一コマ担当している。当館学芸員によるリレー形式の授業。共通テーマは「地域の美術とその鑑賞」。

第1回 講義：「石見美術館の概要とファッションコレクション」

日 時：平成30年10月17日(水) 14:50～16:20

講 師：南目 美輝

会 場：島根県立石見高等看護学院

第2回 鑑賞：「めがねと旅する美術展」

日 時：平成30年10月24日(水) 14:50～16:20

講 師：川西 由里

会 場：島根県立石見美術館 展示室C、D

第3回 講義：「石見の仏像」

日 時：平成30年10月31日(水) 14:50～16:20

講 師：椋木 賢治(島根県立美術館学芸課長)

会 場：島根県立石見高等看護学院

第4回 講義：「展覧会の作り方」

日 時：平成30年11月28日(水) 14:50～16:20

講 師：川西 由里

会 場：島根県立石見高等看護学院

第5回 実習：「造形の基礎：線とデッサンを学ぶ」

日 時：平成30年12月5日(水) 14:50～16:20

講 師：左近充 直美

会 場：島根県立石見高等看護学院

第6回 鑑賞：「ゲゲゲの人生展」

日 時：平成30年12月12日(水) 14:50～16:20

講 師：角野 広海

会 場：島根県立石見美術館 展示室D

第7回 演習：「対話による鑑賞、アートカードゲーム」

日 時：平成30年12月19日(水) 13:10～15:35(休憩含)

講 師：廣田 理紗

会 場：島根県立石見美術館 講義室

共同研究会・実習



服飾関係資料共同研究会



服飾関係資料共同研究会



衣装作品取り扱い実習

服飾関係資料共同研究会

収蔵品の研究を進め、服飾に関する研究機関同士のつながりを深めることを目的に、関東圏の服飾史やデザイン史を研究する大学教員や学芸員らを招聘し、当館の収蔵品を共同で熟覧する研究会を実施した。複数の研究者が意見を交わしあいつつ作品を見なおすことで、当館学芸員だけでは見だせなかった作品の特徴などを改めて発見する機会ともなった。研究の成果をまとめた記録集「服飾研究Vol.1」も作成した。

日 時：平成30年11月1日(木)～11月2日(金)

参加者：11名

衣装作品取り扱い実習

オートクチュール作品をはじめとする衣装作品を、長く安全に保管するため、改めて衣装の取り扱いと、それに必要な技術について学ぶ実習。初回となる本年は、森英恵の元で勤務するオートクチュールアトリエのスタッフを講師に、アイロンのかけ方について改めて学んだ。

講 師：藤平 昌代(森英恵事務所)

日 時：平成30年11月1日(木)9:00～12:00

会 場：いわみ芸術劇場 大楽屋1

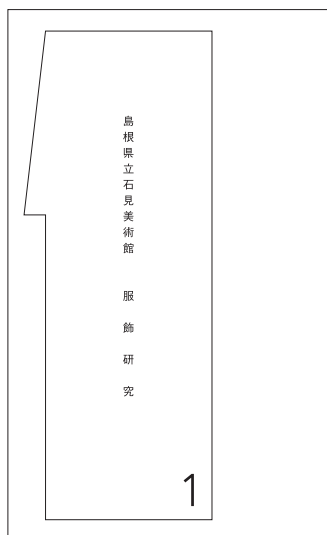
参加者：15名

新聞掲載

山陰中央新報12月5日 衣装作品取り扱い実習 取材記事

印刷物

島根県立石見美術館 服飾研究vol.1(成果報告集)B5変形
(デザイン：野村デザイン制作室)



服飾研究Vol.1 表紙

平成30年度 朝日新聞「石見美術館収蔵から 美ありて」連載記事

- 4月18日 南目 美揮 ジョルジュ・バルビエ《水浴着》
- 5月16日 廣田 理紗 ジャンヌ・ランバン《イブニング・ドレス》
- 6月 6日 左近充 直美 富春《鮑に蟹》
- 7月 4日 廣田 理紗 ダゴベルト・ベッヒェ《ブローチ》
- 9月 5日 南目 美揮 作者不詳《女兒用ワンピースドレス》
- 10月17日 南目 美揮 ポール・ボワレ《カフタン・コート「イスファハン」》
- 11月 7日 角野 広海 雲谷派《耕作図屏風》
- 12月 5日 左近充 直美 澄川喜一《そりのあるかたちD》
- 1月23日 川西 由里 平福百穂《七面鳥・鴨》
- 2月27日 廣田 理紗 ポール・イリブ《「ポール・イリブが描くポール・ボワレのドレス」より、
図版3》

ボランティア



トークボランティア研修

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のボランティア全体のボランティア会の組織は、映画、イベント、ワークショップ、放送、劇場フロント、ギャラリートーク、発送、クリーンアップ、生け花、情報発信の10のグループからなっている。そのうち美術館では「ワークショップグループ」と「ギャラリートーク」のグループが活動している。

【ギャラリートークボランティア】

コレクション展の会場で、会期中の土曜日、日曜日、祝日の午前(10:00～12:00)と午後(13:00～15:00)に実施している。当番制ではなく、各自が活動できる日に来館して行っている。ボランティアは展示室で待機して来場者に声をかけ、希望者に対してトークを行う。各展覧会のトーク実施前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を行っている。

活動記録

- 4月5日～5月21日 コレクション展「余白の美」
- 6月6日～7月22日 コレクション展「夏の和装」
- 11月7日～12月17日 コレクション展「中世の益田氏」
- 12月19日～2月3日 コレクション展「不思議な生きものたち」

【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップをはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして参加をしている。また、主に服飾に関する展示の準備に参加することもある。

活動記録

7月28～30日

特別展「THERIACA 服のかたち／体のかたち」の関連プログラム、ファッションクリエイター・トレーニング・ワークショップVol.2「かたちをまとう」にて、ワークショップの補助を行った。

11月1日

「衣装作品の取り扱い実習」に参加した。

1. いわみ美術回廊

平成14年4月1日 いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界子ども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館（以上7館）

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品（7館グッズ詰め合わせ）贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

平成27年4月 葛飾北斎美術館が閉館、7館体制となる。

2. 萩・益田・津和野美術回廊

平成17年度スタート

参加館：山口県立萩美術館・浦上記念館、益田市立雪舟の郷記念館、津和野町立安野光雅美術館、森鷗外記念館、島根県立石見美術館（以上5館）

活動内容：半券等の提示による相互割引制度

3. 「雪舟さん」および「雪舟小僧さん」

年間パスポート「雪舟さん」 2,000円

○加入施設(4施設)

医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発行の日から1年間、上記4施設に何回でも入館・入園可能

購入者に同行する4名までは、団体料金扱いで入館・入園可能

○下記施設には割引料金で入館

・島根県立石見美術館(コレクション展・企画展)、浜田市立石正美術館、浜田市世界子ども美術館(館主催の展示のみ)

益田散策チケット「雪舟小僧さん」 1,300円

○加入施設(5施設)

島根県立石見美術館(コレクション展のみ)、医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発売(使用開始)の日から3日間、お一人様

1施設1回に限り有効。

4. 割引制度

下記に掲げる乗車券、観覧券等を提示した場合、割引制度が利用可能。

① 石見交通株式会社、中国JRバスが運行する東京からの高速バス往復乗車券

② 石見交通株式会社、阪神電気鉄道が運行する大阪からの高速バス往復乗車券

③ 石見交通株式会社、広島電鉄が運行する広島からの高速バス往復乗車券

④ 大田市以东島根県東部の各JR駅からJR益田駅までの往復乗車券

⑤ 萩・石見空港発着の航空券

⑥ 島根県立石見美術館を除くいわみ美術回廊加盟館の観覧券(半券)

⑦ 山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の観覧券(半券)

⑧ 島根県いわみ芸術劇場で開催される催し物(当日のみ有効)の有料入場券(半券)

⑨ 提携館が発行する年間パスポート(期限内)

・足立美術館・今井美術館・尾道市立美術館・サントリー美術館・津和野町立安野光雅美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立美術館・浜田市世界子ども美術館・浜田市立石正美術館・広島県立美術館・広島市現代美術館・ひろしま美術館・益田市立雪舟の郷記念館・益田市立歴史民俗資料館・杜塾美術館・山口県立萩美術館・浦上記念館・山口県立美術館

⑩ 提携カード

・しまねカード(島根県広島事務所)・しまね子育て応援パスポート(島根県少子化対策推進室)・ちゅーピーくらぶ(株式会社中国新聞社)・ドゥブレ(財団法人広島勤労者職業福祉センター)・とっとり子育て応援パスポート(鳥取県子育て支援総室)・やわらぎカード(株式会社オーエムシーカード)・ゆめカード(株式会社ゆめカード)・JAカード(三菱UFJニコス株式会社)・JAF(社団法人日本自動車連盟)・SDカード(自動車安全運転センター)

所蔵作品一覽

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷派	四季山水図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	江戸時代初期(寛永年間頃)	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戲	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～1592年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鏡木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
田中 頼璋	林和靖愛鶴図	1935年	絹本着色、軸	129.4×41.6
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
中林 竹洞	湖山清遠図	1834～1837年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～1925年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウィンドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿像	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ、角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ、角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	ブルターニュの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
寺戸 恒晴	持石海岸	1977年	油彩、紙	26.8×37.8
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
堂本 尚郎	宇宙 I	1978年	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0
中尾 彰	川村(冬景)	1923年	油彩、カンヴァス、額装	72.9×91.0
中尾 彰	山麓	1955年	油彩、カンヴァス、額装	73.0×116.5
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山中 徳次	木部海岸(大谷)	1936年頃	油彩、板	24.5×33.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911～20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	81.8×100.2
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

版画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
饒嘯	鳳凰 I	1983年	紙、シルクスクリーン	31.0×30.0
畦地 梅太郎	火の山	1973年	木版、紙	29.5×22.1
畦地 梅太郎	ささやき	1978年	木版、紙	25.0×26.0
畦地 梅太郎	園谷の残雪	1967年	木版、紙	46.6×37.3
畦地 梅太郎	鳥と山男	1983年	木版、紙	36.8×46.8
有元 利夫	1983年展覧会ポスター	1983年	銅版、紙	48.7×35.2
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
小林 敬生	蘇生の刻—早春	1988年	木口木版、紙	35.7×25.3
笹島 喜平	不動明王No.90	不詳	木版、紙	47.0×34.8
殿敷 侃	釘(仮題)	不詳	銅版、紙	26.9×31.3
殿敷 侃	不明(ノコ)	不詳	アクアチント、紙 ED : 1/30	14.5×24.4
殿敷 侃	不明(釣針)	不詳	アクアチント、紙 ED : 19/40	4.2×4.4
殿敷 侃	クシ	不詳	アクアチント、紙 ED : 8/20	4.8×8.8
殿敷 侃	不明(くし(長柄))	不詳	アクアチント、紙 ED : 42/45	19.2×14.2
殿敷 侃	不明(新聞)	昭和56年(1981)頃	シルクスクリーン、新聞紙	163.2×81.3×3.0
殿敷 侃	新聞	昭和56年(1981)	シルクスクリーン、新聞紙	163.3×81.2×3.0
杉浦 非水	産業組合中央会 第二次産業組合拡充三ヶ年計画	1937年	印刷、紙	81.0×57.0
杉浦 非水	東亜ペイント製造株式会社 銅化塗料ノーワン	1920年代	印刷、紙	65.3×37.8
杉浦 非水	宮崎県 日向の早熟 蔬菜と果実	1928年	印刷、紙	106.1×74.9
永瀬 義郎	折り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
平塚 運一	裸婦百態「芝生」	1995年	木版、紙	22.0×18.0
古沢 岩美	裸婦(仮題)	不詳	銅版、紙	22.8×18.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	ハヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
アンリ・ド・トゥルーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	80.8×60.8
ウイーン工房(フレグ、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャン=エミール・ラブレール	マリエ・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャン=エミール・ラブレール	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルパージュ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	
ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキストイル・モード』	1925年	ファッションプレート20枚	57.0×38.5
ダゴベルト・ベッヒエ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
テオフィル=アレクサンデル・スタンラン	オートバイ・コミオ	1899年	リトグラフ、紙	200.0×140.0
ピエール・ボナール	雑誌「ルヴュ・ブランシュ」のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	80.0×62.0
ポール・イリーブ	『ポール・ボワレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッセ・カルム	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァインベルガー	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒエ	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912～25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ドール・ジュールドワイ』	1912～22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』	1912～14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
五百城 文哉	富士図	1893~1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・ 28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・ 28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・ 28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	戸山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	仁和寺五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	仁和寺山門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896~1897年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷の春色	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模 (AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巢鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	栗田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	ブリスバーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ブリスバーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903~1911年頃	水彩、紙	22.1×33.6
大下 藤次郎	ポピー	1903~1911年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903~1911年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903~1911年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903~1911年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903~1911年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903~1911年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903~1911年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903~1911年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903~1911年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903~1911年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903~1911年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907～1911年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907～1911年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907～1911年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907～1911年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907～1911年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907～1911年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907～1911年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
加賀羅 聡	三浦浩著『津和野物語』挿絵	1986年	水彩、紙	21.8×17.4
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912～1929年頃	水彩、紙	15.7×21.7
丸山 晚霞	百合	大正3年(1914)頃	水彩、紙	34.8×26.0
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～1945年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の端居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて①(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6×16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて②(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3×15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4×17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	17.3×9.5
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	14.8×9.5
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 鎌倉	不詳	鉛筆、紙	13.8×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 二日市	不詳	鉛筆、紙	8.6×14.0
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892～1897年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
須田 国太郎	大濱	1950年頃	鉛筆、紙	28.5×42.0
須田 国太郎	源平布引瀧の図	不詳	鉛筆、紙	25.5×34.5
須田 国太郎	南座 羽左の実盛	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図1	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図2	不詳	鉛筆、紙	24.5×35.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はげのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	各120.0×95.0
アーヴィン・ブリュメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年印刷	ダイ・トランスファー・プリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニニ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イブニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー 『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州ヨンカース	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティック シティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
バロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
バロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソン・プリント	60.0×60.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ベルナル・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナル・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナル・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナル・フォコン	ディミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、バリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーパース・バザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・プロコウ 『ハーパース・バザー』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーパース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルボーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
穴戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊暁	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・ベッコ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920～21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバーシューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993～94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F.R.P(強化プラスチック)、塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
藪内佐斗司	どこかものたりない 不思議な人物たち	1982年	檜	向かって右 160.0×114.0×112.0 向かって左 132.0×173.0×243.0
藪内佐斗司	ろーりんぐまん	1984年	檜	153.0×258.0×60.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木	高34.0

服飾

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	イブニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート。ドレスは、帯地と絹サテン。
森 英恵	ジャケット、ディナー・ドレス	1965年春夏	西陣織りの帯地を用いたジャケット。シルクサテンのドレス。ドレスの背には大きなりボン飾り。
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン。絹サテンのベルト。
森 英恵	イブニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイブニング・コート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。
森 英恵	ジャケット、ショートイブニング・ドレス	1968年秋冬	漢字柄を織り込んだ金色の西陣織りジャケット。金色の糸で手編みしたドレス。
森 英恵	デイ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント。ワンピース・ドレス。
森 英恵	カフタン、ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール。
森 英恵	イブニング・ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。
森 英恵	イブニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアププリケ。
森 英恵	イブニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアププリケ。
森 英恵	ジャケット、タイトスカート	1989年秋冬	黒色ウール地に黒色シルクサテンと黒色ウール地の網代編みをあしらったジャケット。黒色ウールのタイトスカート。
森 英恵	イブニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス	2002年春夏	青を基調に、ピンクや白を差し色として、花や鳥の刺繍を全面に施したロングドレス。クルーネック、長袖のボディコンシャスでシンプルなフォルム。裾にスリット。左肩にシルク・チュールでコサージュ飾り。
森 英恵	イブニング・ドレス「蒔絵を思わせる赤いサテンのイブニング・ドレス」	1994年秋冬	刺繍とプリントで秋草をあしらった赤い絹サテンのロングドレス。
森 英恵	ジャンプスーツ	2004年秋冬	背面に役者絵を染めた、深い青色のシルクサテンでできたジャンプスーツ。腰に濃紺のブレードでベルト飾り。
森 英恵	ジャケット、タイトスカート、ストール	2004年秋冬	秋の草花を染めた縮緬でできたテイラード・ジャケット、袖にスリット飾り。ストール付き。同素材のタイトスカート。
森 英恵	カフタン、イブニング・ドレス	2004年秋冬	羽ばたく鶴がプリントされた金色シルクサテンのカフタン。同素材でできたベア・トップのロングドレス。
森 英恵	ウェディングドレス	2004年春夏	チュールリボンのフリル飾りをスカート、胸元に配した白色シルクサテンのウェディング・ドレス。胸元に桜色のコサージュ飾り付き。
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス。
森 英恵	コート、イブニング・ドレス	1997年秋冬	豹柄のフェイクファーをパッチワークした黒色ウールのロングコート。同柄をパッチワークしたベルトがついたウールニットの前開きのドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「ベージュにりんごの花のドレス」	1998年春夏	ベージュ地にりんごの花をプリントした絹シフォンのロングドレス。マーメイドライン、ノースリーブ。スパンゲルによる刺繍。
森 英恵	イブニング・ドレス「コーラル色の花を縫いとったレースのドレス」	1998年秋冬	チュール地に珊瑚色の花の刺繍を施した、ワンショルダーのロングドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス	1999年春夏	明るいグレーのシルクシフォンに、白、黒、チャコールグレーの変わり水玉を刺繍したロングドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「プリーツをあしらったウールのスーツ」	2001年春夏	白いウールのジャケット、背中にプリーツ飾り。飾りピン付き。白いウールのアコーディオンプリーツのスカート。
森 英恵	「浮世絵ジャケットとリボンで編んだスカート」	2001年秋冬	銀糸を織り込んだ地に浮世絵柄を刺繍したジャケット、裾にフリル。緑、ピンク、茶のリボンを格子に編んだフレアスカート。
森 英恵	「黒い羽を縫いとったロイヤルブルーのスーツ」	2002年秋冬	花柄の地模様のある青色の綾絹でできたジャケットと膝丈のスカート。襟元、袖さき、背に黒い羽の縫い取り刺繍。
森 英恵	カクテル・ドレス「レースのドレスに軽いボレロ」	2004年春夏	黒い絹レースでできたノースリーブのショートドレス。胸元に小花の刺繍、腰にギャザー飾り。チュール地に格子状の黒いテープで螺旋状に刺繍したボレロ。
森 英恵	カクテル・ドレス「銀色のアンサンブル」	2004年春夏	裾と胸元に銀色のバラをあしらった黒い絹チュール地のショートドレス。同柄のバラモチーフを全面に刺繍した黒い絹チュールのボレロ。
森 英恵	イブニング・ドレス「墨絵にオレンジ色の花を添えたシフォンのドレス」	2004年春夏	墨絵とオレンジ色のバラをプリントした絹シフォンのロングドレス。腰にモザイク状のベルト飾り。
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶とタイガーと波をそめた白い絹のドレス」	2004年春夏	蝶と虎と波をプリントした絹シフォンのロングドレス。裾と袖口に同布で刺繍、蝶と虎にはスパンコール刺繍、背にボタン飾り。
アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き。

作家名	作品名	制作年	材質
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール。マンダリン・カラー。茶革のトリミング、折り返しのあるカフス。
アンドレ・クレージュ	イブニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。
アンドレ・クレージュ	デイ・アンサンブル	1965～1967年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半～1970年	フェイクのエナメル(ビニール製)。丈の短いジャケット、ボティス中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート。銀色の革製のブーツ。アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)。
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967～1968年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル。ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のパイエット飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「夜の音楽」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーヴ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド。
イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イブニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント。プラット・フォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リバティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール。ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ。チェックの綿のシャツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコレット、パッドの入ったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラット・フォーム・シューズ。
エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス。ショッキングピンクのアンダードレス。
エルザ・スカパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡。幾何学模様。ホルターネックブラ。
エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク)。肩にプラスチック・ジップ。
エルメス	水着	1940～1950年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス。ボーン入り。
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バイアスカット。黒の絹のスリッパ。
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレス・ドレス。襟元にボー飾り。背面にバスル風形状の飾り。共布のストールと靴。
クリスチャン・ディオール	デイ・ドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス。裏地はピンクの絹オーガンザ。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコレット。巻きスカート、シース型のアンダースカート付。
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグラン・スリーヴ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスプリーツ。裏地はグレーの絹。
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。
クリスチャン・ディオール /イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグラン・スリーヴ。幅広の帯風のベルト。ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコレットとガーター。スカートにはチュール地の3段のベチコート。
クリスチャン・ディオール /マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オーガンザ。七分丈スリーヴ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～1951年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエット。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン。トラペーズラインのドレス。
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスパンクル、人造宝石の刺繍。
クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコート・ドレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイレースの「ベビー・ドール・ドレス」。黒の絹のスリッパ・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー。
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン。
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース。ジャケット、ベスト、ファスター付きフレア・ボトムのパンツ。

作家名	作品名	制作年	材質
シャルル=フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス。金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボディとスカートに稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。
ジャン=フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス。
ジャンヌ・ランバン	イブニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス。ボディとスカート上部に金銀のスパンゲルなどによる刺繍。
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアップリケ・ワーク。バイアスカット。
ジルベルト・エイドリアン	デイ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール。肩パッド付きのジャケット。スリットのあるタイト・スカート。
スザンヌ・タルボット	イブニング・コート	1925年頃	黒い絹の菌型コート。椰子の葉と花々を織り込んだテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～1905年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている。S字ライン。
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」。
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ。
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～1920年	絹。チュールにアップリケ。
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。
ニナ・リッチ	イブニング・ドレス	1948年	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュール・ネットの下着付き。
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット。木製ソールは金色にペイント。
バーバラ・フラニッキ―/ビバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラード・ジャケット、ヒップ・ボーンフレアーパンツ。
バーバラ・フラニッキ―/ビバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニットでできた、テラードジャケット、ヒップボーンフレアーパンツ。
パコ・ラバンヌ	イブニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。
ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホースヘアを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き。
ビバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラード・ジャケット、ヒップボーンフレアー・パンツ。
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。
ポール・ポワレ	イブニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーン地のシフォン地。銀ブレードの縁飾り、バンド部分にペイズリー模様を銀糸やスパンゲルで刺繍。裏地はライム・グリーン地の絹シフォン。
ポール・ポワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス。前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍。
ポール・ポワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー。ボディとスカート裾に花弁の形をアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒色の絹ベルベット。
ポール・ポワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地。Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン。
ポール・ポワレ	デイ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。
ポール・ポワレ	デイ・ドレス「ブリトンヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム。
ポール・ポワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍。袖の縁取りに使われた紐にはタッセル飾り付き。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。2つのポケット。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント。濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟。袖も青の絹で縁取り。
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグラン・スリーブ、プリーツスカート。
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアス・カット。
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。黒い絹サテンのアンダー・ドレス付。黒いチュールのストール。
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダードレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバードレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス。
マリア・モナチ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブス、肩にヴェネツィアンビーズ。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク。
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク。
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント。金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ。金色のステンシル・ワーク。脇、裾にトンボ玉付き。

作家名	作品名	制作年	材質
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。
メンバーシェ	イブニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグラン・スリーヴ。
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラメ。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り。
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ。茶がかったグレーの絹シフォンでトリミング。襟に中国風刺繍。
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーンとブルーのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール。ボタン付きベルト。
ルディ・ガーンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡。
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。シダ植物と花の模様が交差するパターン。襟元と袖に毛皮。袖はカフタン風。裏地はベージュの絹ベルベット。
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパ・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～1920年代	白色の絹ボンジー。袖無しのボディス、パンツ。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーンとブルーのウール。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール。ジャケット、ジョッパーズのパンツ。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール。ジャケット、ブルマー、カラー。ルースなブラウス風のボディス、セーラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー。
作者不詳	水浴着	1905～1910年頃	濃紺のウール。上着、ブルマー、スカート。
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット。右肩に釦ファスナー。
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿。Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ。
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ。
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッスルの飾り。
作者不詳	イブニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいブロード織り。
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーンとブルーのゴム製。銀色にペイントされた羽根模様。
作者不詳	プレスレット	1930年頃	銀。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	青色綿のサマー・ドレス。全体に白糸のミシン刺しゅうと手刺しゅう。レースの飾り。両脇に大きな飾りポケット。背中に貝ボタンの装飾。
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	小花模様を織り込んだベージュ色の絹のワンピース・ドレス。前身頃に細かな装飾。襟とスカートにスカラップ(ホタテ貝の貝殻)型の縁飾り。後方に大きなボウ飾り。
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	明治23年(1890)頃	クリーム色の絹のワンピース・ドレス。高い位置にウエストライン。大きくふくらんだ袖。全体にレースの差し込みと刺しゅうの装飾。付属品としてドレスと共布の薄手の絹と、グログラン(横紋のある平織地)の絹の帽子。
作者不詳	女兒用サマー・ドレス	明治13～23年(1880～1890)頃	赤色と白色の細かいチェック地の綿サマー・ドレス。ピンタックのある白色綿ブラウスと合わせて着用。襟、袖、スカート裾に白糸で手刺しゅう。
作者不詳	女兒用コート・ドレス	明治13年(1880)頃	赤色の絹グログランのコート・ドレス。ピンク色の絹ファイユの胸当て。セーラー・カラーと大きな飾りポケットの装飾。七宝のボタン。フランス製。“Au Printemps Paris”とラベルあり。
作者不詳	男児服	明治10～23年(1870年代後半～1880年代)	青色のウールのジャケット。飾りボタンの装飾。赤いシルクのライニング。フランス製。“AU LOUVRE PARIS RAYON 53”とラベルあり。

テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～1928年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～1930年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ヴンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912～1928年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922～1930年代	水彩、紙

ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ボーテ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

平成30年度 新収蔵作品一覧

購入

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
1	服飾	アンドレ・クレージュ	デイ・ドレス	昭和43年(1968)	綿レースで刺繍したナイロンチュールのワンピースドレス、絹サテン地でバイピング	

寄贈

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
1	写真	松江 泰治	JP-32 02	平成30年(2018)	発色現像方式印画	50.0×61.0
2	写真	松江 泰治	JP-32 04	平成30年(2018)	発色現像方式印画	50.0×61.0
3	写真	松江 泰治	JP-32 05	平成30年(2018)	発色現像方式印画	50.0×61.0
4	写真	松江 泰治	JP-32 07	平成30年(2018)	発色現像方式印画	50.0×61.0
5	写真	松江 泰治	JP-32 09	平成30年(2018)	発色現像方式印画	50.0×61.0
6	写真	松江 泰治	JP-32 16	平成30年(2018)	発色現像方式印画	50.0×61.0

所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
岡山県立美術館開館30周年記念展 「県美コネクションつながる「ひと」・「もの」・「こと」」 岡山県立美術館 平成30年4月20日～7月1日	ガブリエル・フォン・マックス《煙を出す壺を抱く女性》 ピエール・バルマン《イブニング・ドレス》 パコ・ラバヌ《イブニング・ドレス》 クリストバル・バレンシアガ《カクテル・ドレス》
「開館30周年記念 久万美の軌跡」 町立久万美術館 平成30年9月8日～10月31日	藤田 嗣治《アントワーブ港の眺め》
静岡県富士山世界遺産センター平成30年度秋季特別展 シリーズ江戸文化のなかの富士山1「富士山絵画の正統—19世紀 狩野派の旗手 伊川院栄信と晴川院養信—」 静岡県富士山世界遺産センター 平成30年9月22日～11月25日	狩野 伊川院栄信筆・松平不昧賛《富士三保清見寺図》一幅
「エキゾチック×モダン アールデコと異境への眼差し」 東京都庭園美術館 平成30年10月6日～平成31年1月14日 群馬県立館林美術館 平成31年1月22日～3月31日	ポール・ボワレ《カフタン・コート「イスファハン」》 『ガゼット・デュ・ボン・トン』よりファッションプレート2点 『モード・エ・マニエル・ドージュルデュイ』よりファッションプレート1点 『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』よりファッションプレート2点 ポール・イリーブ『ポール・イリーブが語るポール・ボワレのドレス』
「扇の国、日本」 サントリー美術館 平成30年11月28日～平成31年1月20日 山口県立美術館 平成31年3月20日～5月6日	《柳橋扇面流遊女図屏風》
「モダン美人誕生—岡田三郎助と近代のよそおい」 ポーラ美術館 平成30年12月8日～平成31年3月17日	岡田 三郎助《黒き帯》 榎本 千花俊《池畔春興》 榎本 千花俊《揚揚戯》 山田 喜作《真夏の港》 菊池 華秋《雪晴》 榎本 千花俊《口紅を描く》 『婦人グラフ』第2巻第3号～5号、第3巻2号、第3巻4号
「石見根付をたのしむ」 島根県立美術館 平成31年1月2日～2月11日	中村 松間斎《猛禽図印籠》 富春《蓮葉に蓑亀》 富春《鮑に蟹》 富春《亀》 巖水《扇面に忍草》 富永《猪牙に蜘蛛》 龍水《牛》 阿部 裕幸《明暗》 前田 中《番》 穴戸 濤雲《柿本人麿》 田中 俊晞《おろち》 和地 一風《月下の祈り》 高木 喜峰《迷い道》

入館者数一覧・パスポート会員数一覧

1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	26,963	815	1,210	97	2,122	1,636	1,449	2,463	5,548
5月	32,518	2,771	2,671	0	5,442	4,304	2,181	5,638	12,123
6月	37,559	1,805	2,023	150	3,978	3,349	1,982	4,718	10,049
7月	29,744	1,869	2,179	31	4,079	3,738	4,191	4,123	12,052
8月	44,321	3,146	3,049	88	6,283	12,182	3,995	6,702	22,879
9月	30,911	2,895	2,865	51	5,811	3,066	2,688	3,183	8,937
10月	36,413	6,309	6,103	82	12,494	7,042	1,765	13,623	22,430
11月	27,124	1,665	1,956	121	3,742	1,893	3,022	6,260	11,175
12月	32,062	4,218	3,636	263	8,117	6,190	3,582	3,676	13,448
1月	30,183	5,544	4,729	41	10,314	4,988	2,420	3,769	11,177
2月	27,552	0	997	2,822	3,819	4,244	1,353	2,903	8,500
3月	28,674	0	776	0	776	3,087	2,389	3,696	9,172
合計	384,024	31,037	32,194	3,746	66,977	55,719	31,017	60,754	147,490

2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	16	136	13	66	85	271	228	815
5月	55	314	16	144	786	709	747	2,771
6月	13	175	24	166	367	467	593	1,805
7月	11	198	5	74	711	499	371	1,869
8月	44	645	41	274	561	792	789	3,146
9月	50	422	44	338	844	630	567	2,895
10月	90	416	43	380	4,111	651	618	6,309
11月	27	292	25	218	238	370	495	1,665
12月	164	777	67	396	937	1,013	864	4,218
1月	236	1,078	144	787	780	1,003	1,516	5,544
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	706	4,453	422	2,843	9,420	6,405	6,788	31,037

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	16	0	225	71	107	545	246	1,210
5月	55	0	268	106	786	709	747	2,671
6月	13	10	218	114	376	675	617	2,023
7月	11	1	218	86	715	703	445	2,179
8月	44	0	609	251	561	792	792	3,049
9月	50	3	387	300	849	776	500	2,865
10月	90	0	323	310	4,111	651	618	6,103
11月	27	7	288	204	327	584	519	1,956
12月	164	0	394	229	937	1,013	899	3,636
1月	236	0	616	551	782	1,028	1,516	4,729
2月	0	24	166	64	278	408	57	997
3月	0	0	190	101	38	425	22	776
合計	706	45	3,902	2,387	9,867	8,309	6,978	32,194

3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
モダン・アートに出会う 5つの扉—和歌山県立近代美術館名品展	平成30年4月21日～6月17日	51	5,391
ゆかた 浴衣 YUKATA すずしさのデザイン、いまむかし	平成30年7月14日～9月3日	46	5,415
めがねと旅する美術展 江戸時代から現代まで—「みる」ことの探求	平成30年9月15日～11月12日	51	10,469
追悼水木しげる ゲゲゲの人生展	平成30年12月1日～31年1月28日	47	9,762
合計			31,037

4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,154	1,147	1,141	1,131	1,128	1,117	1,090	1,082	1,088	1,094	1,083	1,086

収支概要

■収支概要

センター運営費	22,393
指定管理委託料	329,614
展覧会事業費	56,491
企画展示費	48,315
常設展示費	1,811
特別コレクション展示費	6,365
教育普及費	1,381
教育普及(誘客促進)費	587
調査研究費	1,470
情報提供事業費	1,138
美術品保存修復事業費	938
美術品収集事業	1,640
センター利用促進事業費	1,000
合 計	416,652

企画展	7,417
常設展	1,060
パスポート	2,825
目的外使用料	4,754
合 計	16,056

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例をここに公布する。

島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事及び教育委員会（以下「知事等」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事等が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事等は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則及び教育委員会規則（以下「規則等」という。）で定める書類を添付して、知事等が定める期日までに知事等に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事等は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則等で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則等で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事等に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事又は教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事等はその指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事若しくは教育委員会は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命ずることができる。

- 2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事又は教育委員会が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事又は教育委員会の権限とする。
- 3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、知事等は其の賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

(平17条例39・一部改正)

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するときは、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前日までに指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生

徒並びにこれらに準ずる者

(観覧料の減免)

第21条 教育委員会は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定め管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事又は教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

(センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

(罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

- 2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。
- 3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

(供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。
(知事が別に定める日＝平成17年10月8日)

(経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。
ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年条例第1号）抄

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表第1（第3条関係）
 （平26条例1・一部改正）

1 施設の基準額

(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 31,510	円 42,020	円 52,520	円 63,040	円 84,050	円 105,060
		土、日曜日 及び休日	37,810	50,430	63,030	75,640	100,860	126,080
	1階席	平日	21,010	28,010	35,020	42,020	56,030	70,040
		土、日曜日 及び休日	25,210	33,610	42,020	50,430	67,230	84,050
小ホール	平日	8,400	11,200	14,000	16,800	22,410	28,010	
	土、日曜日 及び休日	10,080	13,430	16,800	20,160	26,880	33,610	
スタジオ1			4,750	6,330	7,920	9,500	12,670	15,850
スタジオ2			970	1,300	1,630	1,950	2,610	3,270
大ホール大楽屋1			2,120	2,830	3,550	4,260	5,680	7,110
大ホール大楽屋2			2,120	2,830	3,550	4,260	5,680	7,110
大ホール中楽屋1			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール中楽屋2			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール中楽屋3			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール中楽屋4			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール小楽屋1			590	800	990	1,200	1,600	2,000
大ホール小楽屋2			590	800	990	1,200	1,600	2,000
小ホール中楽屋1			780	1,030	1,300	1,560	2,080	2,610
小ホール中楽屋2			780	1,030	1,300	1,560	2,080	2,610
小ホール小楽屋1			590	800	990	1,200	1,600	2,000
小ホール小楽屋2			590	800	990	1,200	1,600	2,000
多目的ギャラリー			3,930	5,250	6,570	7,880	10,510	13,140

備考

- 入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額（入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額）の区分に応じた額を加算した額とする。
 ア 3,000円以下のもの 10割相当額（徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあっては、5割相当額）
 イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
 ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。
- 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（（2）の表において同じ。）。
- 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2 (第20条関係)

区分		観覧料の額 (1人1回につき)	
		個人の場合	団体 (20人以上の場合をいう。) の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3 (第20条関係)

区分	年間観覧料 (同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料) の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

島根県立石見美術館管理規則

平成16年11月5日
島根県教育委員会規則第29号島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。
島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

様式第1号（第2条関係）

指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名 印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

住所〒

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

申請者 氏名

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計	円		円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

施設概要

■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

[所在地] 島根県益田市有明町5番15号
 [設計期間] 2001年4月～2002年7月
 [工事期間] 2002年11月～2005年3月

[設計] 内藤廣建築設計事務所
 [構造設計] 空間工学研究所
 [設備設計] 明野設備研究所
 [コンサルタント]

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

[敷地面積] 36,564.16㎡
 [建築面積] 14,068.15㎡
 [延床面積] 19,252.45㎡
 1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡
 地下1階：3,045.66㎡
 [建蔽率] 38.4%（許容：60%）
 [容積率] 52.6%（許容：200%）
 [用途] 美術館・劇場
 [規模] 地上2階 地下1階
 [最高高さ] 32.24m
 [構造] RC造、一部PC、S造

[設備]

- 空調設備、空調方式
 ホール・美術館：単一ダクト方式
 事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式
 レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式
- 熱源
 冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、
 空冷ヒートポンプチラー方式
 氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）
 温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、
 ボイラー方式
- 衛生設備
 給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式
 給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、
 その他：局所式（電気温水器）
 排水：建物内＝汚・雑排水合流方式
 建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）
- 電気設備
 受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線
 設備容量：6250kVA
 契約電力：1500kVA
 予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA
- 防災設備
 消火設備：全館スプリンクラー設備
 （ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）
 美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備
 （ハロンバンク登録）
 補助散水栓
 排煙：自然排煙、機械式排煙
 その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、
 非常用照明
 昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター
 特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・
 砂濾過方式

[施工]

- 建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体
- 衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体
- 強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体
- 弱電：栗原工業
- 舞台機構：森平舞台機構
- 舞台照明：丸茂電機
- 舞台音響：ヤマハサウンドテック
- 非常用発電：東芝
- エレベーター：東芝エレベーター
- 浄化槽：アルファプランニングワーク
- 外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 植栽：田部、大畑建設
- アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 屋根・外壁石州瓦：
 施工＝益田窯業
 製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ
 瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）
 ＝シマムラ
- 外壁タイル：
 施工＝協和タイル
 製造＝株式会社 スカラ
- 特殊照明：ヤマギワ

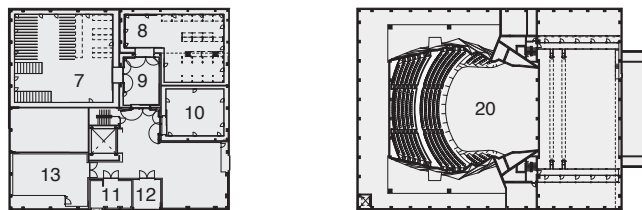
〔諸室面積一覧〕

石見美術館	
●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡
共用・管理部門	
●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡
●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡
●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

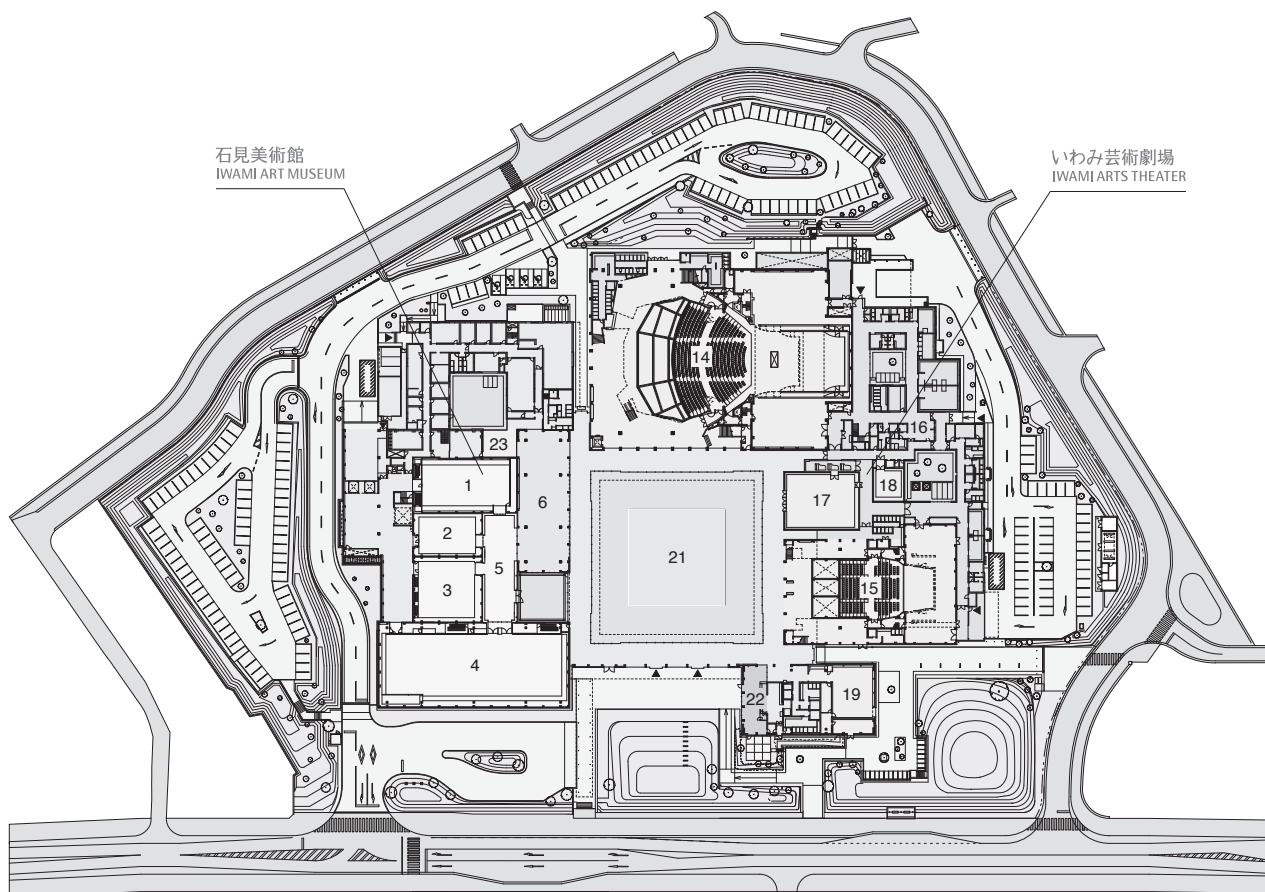
いわみ芸術劇場	
大ホール	
●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡
●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡
小ホール	
●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡
●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡
●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡
●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室	14.1㎡

[平面図]

2F



1F



石見美術館

- | | |
|----------|----------|
| 1:展示室 A | 8:収蔵庫 2 |
| 2:展示室 B | 9:収蔵庫前室 |
| 3:展示室 C | 10:一時保管庫 |
| 4:展示室 D | 11:修復室 |
| 5:展示前室 | 12:隔離室 |
| 6:美術館ロビー | 13:写真室 |
| 7:収蔵庫 1 | |

いわみ芸術劇場

- | | |
|----------------|---------------|
| 14:大ホール | 21:中庭広場 |
| 15:小ホール | 22:レストラン |
| 16:楽屋 | 23:ミュージアムショップ |
| 17:スタジオ 1 | |
| 18:スタジオ 2 | |
| 19:多目的ギャラリー | |
| 20:大ホール 2 F 客席 | |

運営組織体制

施設名称

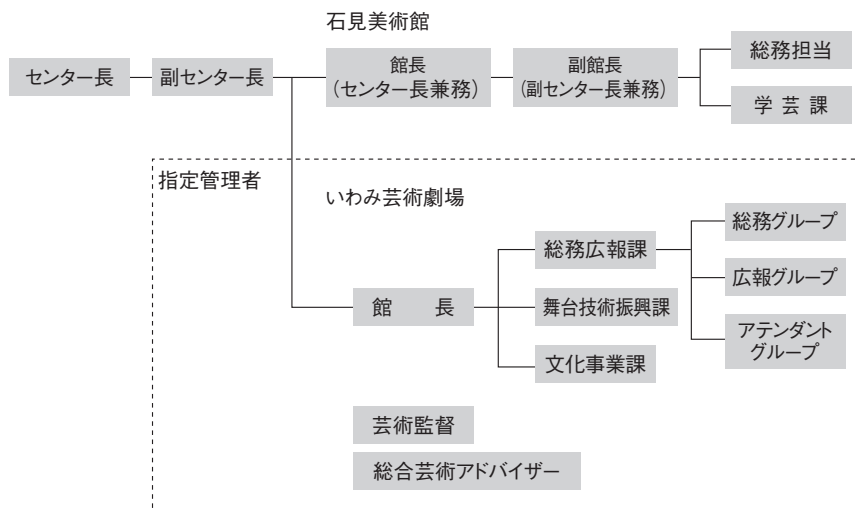
島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

島根県芸術文化センター協議会

協議会委員(14名)

島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホール文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜従郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：10:00-18:30(展示室への入場は18:00まで)
 いわみ芸術劇場：9:00-22:00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館観覧料

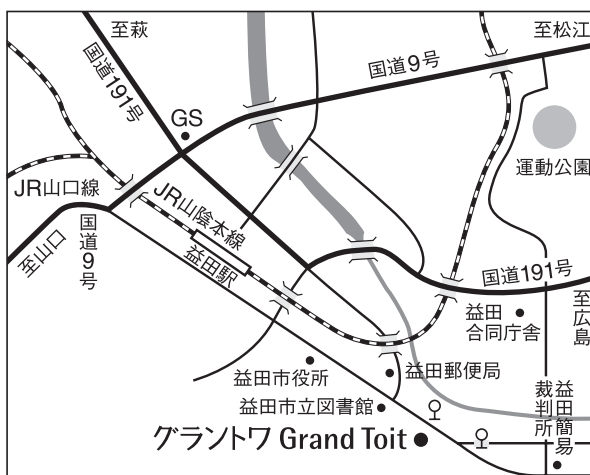
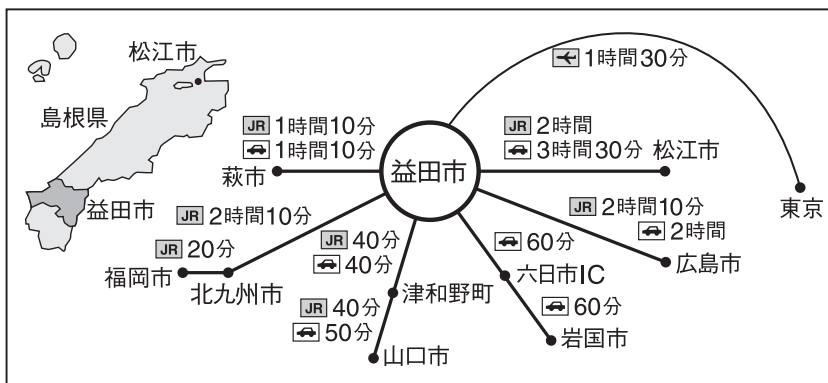
コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円
 ()内は20名以上の団体料金
 ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額になります。
 ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)
 ・各種障がい者手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。

交通案内

- ・石見交通バス「グラントワ前」下車 徒歩1分
- ・JR益田駅から 徒歩15分
- ・萩・石見空港からJR益田駅まで連絡バス 約15分
- ・浜田自動車道浜田ICから自動車 約50分
- ・JR新山口駅からJR益田駅まで特急 約90分
- ・◎駐車場あります(200台・無料)
- ・※ただし土日祝などイベント開催時は駐車場の混雑が予想されます。



令和元年12月27日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

E-mail : zaidan@grandtoit.jp <http://www.grandtoit.jp>



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM